

令和 6 年 6 月 26 日現在

機関番号：14301

研究種目：基盤研究(S)

研究期間：2019～2023

課題番号：19H05656

研究課題名（和文）先端ゲノミクスを駆使したがんの初期発生とクローン進化に関わる分子基盤の解明

研究課題名（英文）comprehensive studies on the molecular basis of early development and clonal evolution in cancer using advanced genomics.

研究代表者

小川 誠司 (Ogawa, Seishi)

京都大学・医学研究科・教授

研究者番号：60292900

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 153,800,000円

研究成果の概要（和文）：革新的なシーケンス技術の進歩により、主要ながん腫についてはドライバー変異の全体像が明らかになった一方、発がんの初期のクローン選択はどのようにして生ずるのか、その後獲得される遺伝子変異によりどのように腫瘍内の多様性が生じるのか、また、それらはどのように癌の臨床的な振る舞いと関連するのか、という新たな疑問が生じてきた。本研究では、代表的ながん種について、がんの初期病変・起源の細胞とクローン進化の履歴を明らかにするのに加えて、非コード領域の遺伝子異常とその発がんにおける機能的意義を明らかにし、さらに大規模コホートのがんの遺伝学的解析を行い、遺伝子異常が、がんの病態・臨床像に及ぼす効果の解明を行った。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究では、がんの微小な初期病変のサンプリング、オルガノイド樹立によるクローン化とそれらの全ゲノムシーケンス解析により、がんの初期病変・起源の細胞とクローン進化の履歴を明らかにした。また、独自に開発した遺伝子変異と遺伝子発現の単一細胞シーケンスにより、クローン進化におけるドライバー変異の機能的意義の解明を行った。高度なゲノム解析技術とインフォマティクスに立脚した斬新な研究手法により、発がんの初期過程から浸潤、転移、再発の全容を解明した点で、高い学術的な独自性・創造性を有するとともに、様々ながん腫の遺伝子異常と表現型の関係を明らかにし、がんの治療予後の向上に資する社会的意義の高い研究成果を得た。

研究成果の概要（英文）：The advancement of next-generation sequencing technologies has unveiled the landscape of driver mutations for major cancers. However, new questions have arisen regarding the timing of early clonal selection in carcinogenesis, the contribution of subsequently acquired genetic mutations to intra-tumoral heterogeneity, and their impact on the clinical behavior of cancer. This study not only elucidated the early lesions and cellular origins of cancers, along with the history of clonal evolution, for representative cancer types, but also unveiled the functional significance of non-coding genetic aberrations in carcinogenesis. Furthermore, we conducted genetic analyses of various cancers using large cohorts to understand the effects of genetic abnormalities on the pathophysiology and clinical presentation of cancer.

研究分野：ゲノム解析

キーワード：ゲノム生物学 腫瘍生物学 全ゲノムシーケンス 単一細胞シーケンス オルガノイド クローン進化

## 様式 C - 19、F - 19 - 1 (共通)

### 1. 研究開始当初の背景

革新的なシーケンス技術を背景とした国際的なゲノム解析の努力によって、今やほとんどのがん種に関して、発がんに関わる蛋白コード領域については、主要なドライバー変異の全体像が明らかにされた (Lawrence et al., *Nature* 2014)。また、こうした変異の原因と密接に結びついた変異のシグニチャーや、遺伝子発現・メチル化プロファイルを含むがんの遺伝学的特性の解明や、がん組織内に存在する高度な腫瘍内多様性 (Gerlinger et al., *N Engl J Med.* 2012) が理解されるようになった結果、病期の進展や治療抵抗性、再発といった臨床上的重要な問題に関する理解が進んだ。ゲノム解析に基づくがん研究は、なお進化し続けるシーケンス技術を背景とし、多くの未解決の課題を巻き込みながら、日常診療への応用も視野に入れつつ、今後がん研究の大きな潮流となることは間違いない。

一方、これまでのがんゲノムの解析によって、癌研究の新たな課題も明らかになってきた。このうち、発がんのごく初期のクローン選択の過程とそのメカニズムは、近年、がん研究の分野で特に注目を集めている課題の一つであるが、例外的な状況 (Yozhizato et al., *NEJM*, 2016 など) を除いて、それらの過程をヒトのがんで直接的に観測することが一般には困難なことから、なお、その詳細は明らかではない。近年、高齢健常人では、体細胞変異を伴うクローン性造血 (Jaiswal et al., *N Engl J Med.* 2014) や表皮のクローン拡大 (Martincorena et al., *Science* 2015) がしばしば認められることが報告され、それぞれ白血病や皮膚がんの前駆病変との強い関連が示唆されているが、こうしたクローン性増殖の経時的なプロファイルやクローン選択に関わる変異の機能的な側面に関しては、多くが不明である。また、がんがその後、どのようにして、さらなる遺伝子変異を獲得しつつ高度な多様性を獲得し、浸潤や転移、治療抵抗性や再発を来すのかについても、これらに対応した試料を用いた系統的な研究に乏しく、十分に解明されていない。これと関連して、ゲノムの 99% を占める非コード領域における変異や構造異常については、近年新たな発見が相次いでいるが、これら知見は、未だ極めて限られたものである。さらに、これまで同定された多数の遺伝子変異がどのように腫瘍の病型、その他の臨床像を含めた表現系を規定しているのかについては、これらの知見の臨床的な意義を明らかにする上で必須であるが、これについては、近年、大規模コホートの解析による顕著な成果が報告されているもの (Papaemmanuil et al., *NEJM*, 2016; N=1,540, Makishima et al., *Nature Genet*, 2017; N=2,250, Lindsley et al., *NEJM*, 2017; N=1,514)、未だ限られている。

そこで、本研究では、1) 発がんの初期のクローン選択はどのようにして生ずるのか、2) その後獲得される遺伝子変異によってどのようにして多様性が生じ、転移や治療抵抗性の獲得、再発にいたるのか、また、3) それらはどのように癌の臨床的な振る舞いと関連するのか、という疑問に焦点をあててその解明を目指す。

### 2. 研究の目的

本研究の目的は、

- (A) 代表的ながん種について、それらの初期病変について、オルガノイド培養、レーザーマイクロダイセクション、単クリプトの採取、FACS ソーティングと「単クローンに由来する DNA」の全ゲノムシーケンス、高度なインフォーマティクスを駆使して、がんの初期病変・起源の細胞とクローン進化の履歴を明らかにした上で、
- (B) 全ゲノムシーケンスと長鎖リードによるシーケンスを用いて、非コード領域の遺伝子異常、構造異常とその発がんにおける機能的意義を明らかにすること、また、
- (C) 大規模コホートの標的シーケンスに基づく遺伝子異常と表現型の関係を明らかにすること、である。

### 3. 研究の方法

#### A. がんの初期病変・起源の細胞とクローン進化の履歴の解明

##### A-1 初期膵がん、切除後残存膵由来のオルガノイド樹立とマウスモデル解析によるクローン選択メカニズムの解明

膵がんの外科的切除標本、超音波内視鏡下での吸引針生検検体等から、オルガノイド培養を行う。これらの系により、膵がん細胞や一見正常に見える膵臓組織におけるクローン履歴の推定と、培養下あるいはマウスモデルでの前向きなクローン進展の過程の解析、および薬剤や遺伝子操作での解析をあわせ、膵がんのクローン進展の全容を明らかにする。

##### A-2 健常大腸粘膜および aberrant crypt foci (ACF)/UC 粘膜におけるクローン進化の解明

正常大腸粘膜、Aberrant Crypt Foci (ACF)、また、潰瘍性大腸炎の大腸粘膜より、腸管再生の最小単位(幹細胞の単位)である陰窩を、それらの位置情報を記録しつつ単離・増幅し、エクソームシーケンスを行う。集簇した陰窩で共有されるドライバー変異やそれ以外の変異を評価し、クローン拡大の程度と、拡大の履歴を解析する。また、ACF と正常粘膜、潰瘍性大腸炎と正常粘膜をドライバー変異、クローン構造の観点から解析することにより、がんの初期病変の起源につい

て明らかにする。

### A-3 正常乳管と初期乳がんのクローン拡大の解明

乳がん患者の手術摘出検体や生検検体を用いて、同一患者由来の正常乳管組織を含む各進展段階の乳腺組織をマイクロダイセクションで分離する。検体の一部を用いてオルガノイド培養をおこない単一細胞由来コロニーを作成し全ゲノム解析を行う。初期のクローンの進化とこれに関わる重要な遺伝子の同定、さらには、変異獲得年齢の推定を行うことにより、がんの初期病変の起源を考察する。

### A-4 クローン性造血の解析

クローン性造血保有者を含む健常人や、造血器腫瘍発症患者由来のシングルセルコロニーに対して全ゲノムシーケンスを実施することで、バルクの検体では評価できないような微細な造血幹細胞クローンに蓄積しているゲノム異常の全貌を評価する。

### A-5 単一細胞シーケンスによる解析

我々は RNA を標的として変異と遺伝子発現プロファイルを同時測定する手法を開発した。本手法を用いて、クローン性造血や前白血病クローンの起源と機能的特性の解析を行う。

### B. 非コード領域の遺伝子異常、構造異常の解明

全ゲノムシーケンスと、長鎖リードシーケンス(Nanopore, PacBio)ないし疑似長鎖リードを補完的に用いることにより、未知の 99%の領域についてがんゲノムの構造異常の解明を試みる。さらに多層オミクス解析を用いて、非コード領域のエピジェネティクス異常の網羅的解析を行う。

### C. 遺伝子異常が、がんの病態・臨床像に及ぼす効果の解明

さまざまな腫瘍の大規模ながん試料の解析により、病型依存性、治療反応性、予後等の関連について解析する。また、共存ないし排他する遺伝子変異を解析するところにより、がんの進化の過程におけるドライバー変異の相互依存関係を明らかにすることで、がんの多様性の獲得のメカニズムを考察する。マウスモデルを用いて新規遺伝子異常の機能解析を行う。

## 4. 研究成果

### A. がん細胞の起源とクローン進化の解明

#### A-1 初期膵がん、切除後残存膵由来のオルガノイド樹立と全ゲノムシーケンスによるクローン履歴の推定とマウスモデル解析によるクローン選択のメカニズムの解明(小川、江藤、研究協力者：垣内、妹尾、平野)

膵癌患者 21 名および非膵癌患者 17 名の非癌部の膵管からマルチサンプリングし、合計 333 株の膵管オルガノイドを樹立し、全ゲノムシーケンスを行った(34 症例 116 検体)。正常な膵管細胞では、全ゲノムあたり年間 27 個の変異を蓄積すること判明した。癌患者の一部の症例では、非癌部の膵管にも *KRAS* 変異をもつクローンの拡大がみられた。非膵癌患者の膵管オルガノイドでは *KRAS* 変異はみられず、膵癌患者の膵管に特異的な選択が働く可能性が示唆された。

#### A-2 健常大腸粘膜および aberrant crypt foci (ACF)/UC 粘膜における単一クリプトの単離と時間・空間的なクローン進化の解明(小川、研究協力者：垣内、妹尾、坂井)

様々な年齢の健常人および潰瘍性大腸炎(UC)患者の大腸から単一陰窩を採取し、全エクソン解析を行った結果、健常人の大腸陰窩では遺伝子変異数は加齢に従って全エクソンあたり年間 0.61 変異の速度で遺伝子変異を蓄積すること、UC 患者では、最大で約 3 倍の速度(年間 1.91 変異)で変異を蓄積することが明らかになった。

UC 症例の大腸粘膜と、炎症性大腸がんの微少サンプリングによる大規模なゲノム解析を行い、UC 粘膜では、IL-17 シグナル経路の遺伝子変異を獲得した細胞が増加していること、またこの経路の *NFKB1Z* 等の変異は大腸がんではほとんど認められないこと、さらにこれらの遺伝子に変異を獲得した上皮細胞は発がんしがたいことを明らかにした(図 1)。(垣内ら、Nature 2020)

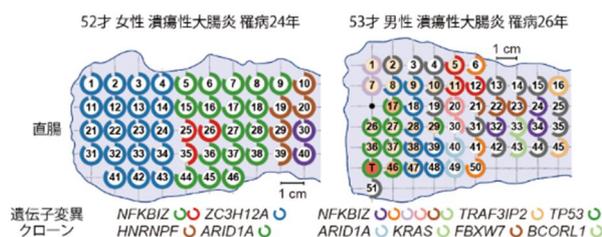


図 1

#### A-3 正常乳管と初期乳がんのマイクロダイセクション、オルガノイド培養によるクローン拡大の解明(小川、中川、片岡、研究協力者：西村、戸井、垣内)

正常乳腺由来試料から分離した乳管上皮細胞を用いて単一細胞由来のオルガノイド培養を行い、全ゲノムシーケンスを行った(21 症例 64 検体)。閉経前は全ゲノムあたり年間 19.5 個の速度で変異が蓄積するのに対し、閉経後の変異蓄積速度は年間 8.1 個に低下し、さらに出産を 1 回経験するごとに変異数は 54.8 個減少した。乳腺における変異の蓄積には、加齢に加え、エストロゲンの増減を伴う女性特有のライフイベントが影響を与えることが示唆された。さらに、乳がんの発がん初期の遺伝学的なクローン進化の履歴を辿るために、乳がん患者 5 例の手術検体を用いて、同一乳腺内のがん病変と前がん病変からマイクロダイセクションによる多部位サンプリング(合計 69 検体)と全ゲノムシーケンスを行い、様々な進展段階の病変のクローン構造を比較

解析した。正常乳管上皮細胞の変異蓄積速度を用いた時期推定を行うと、der(1;16)転座陽性乳がんでは思春期前後にder(1;16)転座を獲得し、その後数十年をかけて乳がんの発症に至ったと推定された。der(1;16)転座を獲得した非がんクローンは乳腺の中を数cm単位で広範に拡大し、各所で異なるクローン進化を遂げながら正常な上皮から前がん病変、乳がんに至るまで多彩な形態の上皮を形成したことが明らかになった。一方で、臨床的には正常な乳腺における非がん上皮 77 検体のクローン構造を解析すると、思春期前後に生じたder(1;16)陰性のクローンは1cmを超えて広がることはなかった(図2)。これらの結果から、非がんクローンの広範な拡大とこれに続く多発クローン進化・発がんは乳がんの約20%を占めるder(1;16)陽性乳がんの特徴的な発がん様式であると考えられた(西村ら、Nature 2023)。

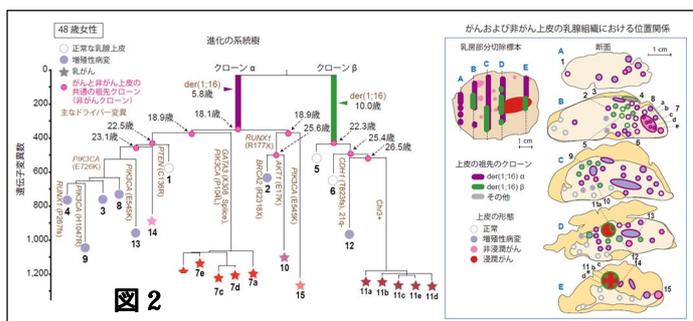


図2

#### A-4 クローン性造血の解析(中川、南谷、牧島、小川、研究協力者:佐伯)

クローン性造血は、加齢と共に頻度が上昇する血液腫瘍の前がん病変であるが、心血管疾患等様々な疾患とも関連が判明し、近年注目されている。我々は遺伝子異常とコピー数異常の統合解析を実施し、その予後への影響を明らかにした。その結果、特定の遺伝子変異とコピー数異常の組み合わせが特に強い共存関係を示し、いずれか単独の場合に比較して共存した場合、血液腫瘍や心血管疾患のリスクを協調的に上昇させることが判明した(図3A, B)(佐伯ら、Nat. Med. 2021)。また、クローン性造血は近年COVID-19の重症化にも関わることが示唆されており、新型コロナウイルスフォースに登録された約5,000例について、遺伝子変異とコピー数異常に基づくクローン性造血の評価を行った。その結果、クローン性造血の中でも重症化リスクの高いサブタイプをゲノム異常に基づき特定できることが判明し(図3C)、血球の遺伝子発現や血漿タンパクのプロファイルにおいても連動した炎症関連パスウェイの変動を認め(図3D)、クローン性造血によるCOVID-19の重症化メカニズムについて新たな示唆が得られた。

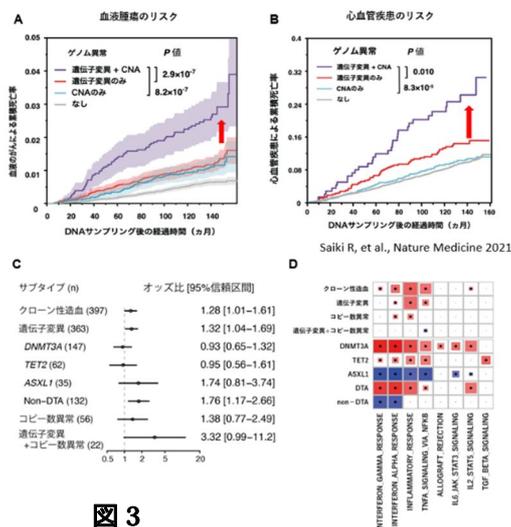


図3

#### A-5 単一細胞シーケンスによる解析(中川、小川)

変異を有するクローンの細胞レベルでの表現型を解析するため、遺伝子変異と遺伝子発現を同時に同一の細胞で同定可能な系を開発した。この系を用いて、クローン性造血を有する高齢者、および同年代の対象症例の骨髄のCD34陽性造血幹細胞・前駆細胞分画の解析を行った。DNMT3A, TET2, SF3B1, SRSF2, IDH1, IDH2の変異をそれぞれ有する複数の症例において、同一症例内の変異細胞と野生型との比較を行った。興味深いことに、変異を有する細胞ではInflammatory responseに関連する遺伝子の発現が低下しており、高炎症環境での選択により適した細胞であると考えられた。さらに興味深いことに、TET2変異を10%程度の細胞が有する複数症例での、変異を有しない野生型の細胞は、変異を有しない対象症例の細胞と比較し、増殖経路やインターフェロン反応の上昇を認めた。これらの結果から、変異クローンはクローン拡大のごく初期から、細胞自律性だけでなく、非細胞自律性の影響を有することで、自身のクローン拡大に寄与する可能性が示された。

#### B. 非コード領域の遺伝子異常、構造異常の解明(南谷、中川、小川、研究協力者:越智)

急性骨髄性白血病(AML)500例の日本人患者検体を収集し、ターゲットシーケンス、RNAシーケンス、ATACシーケンスを実施した。低頻度の新規遺伝子変異を同定したほか、AMLのサブグループに特有の遺伝子発現パターンや、クロマチン制御機構を解明した。また、現在のWHO分類に規定されない新規AMLサブグループを同定し、固有の臨床所見や遺伝子異常パターンを呈することを明らかにした。以上よりゲノムクスに加えて多層オミクス解析を実施することで、AMLの分子機構と分子分類について新規の知見をもたらした。

#### C. 遺伝子異常が、がんの病態・臨床像に及ぼす効果の解明(南谷、牧島、依田、江藤、昆、小川、研究協力者:藤井、越智、竹田、奥田)

##### C-1 TP53アレルの状態による病態像の相違と臨床的影響の解明

MDS にみられる *TP53* 変異は、アリのルの状態によって 1-hit 症例と multi-hit 症例に分類される。multi-hit 症例は核型異常が多く、他のドライバー変異の併存が少ないが、1-hit 症例は逆に核型異常が少なく他のドライバー変異が多いという遺伝学的特徴がみられた。Multi-hit 症例は WHO 分類における AML-MRC、EB1、EB2 の割合が多く、とくに治療関連性 MDS (t-MDS) が多いことが特徴であった。IPSS-R によるリスク分類では、multi-hit 症例では very poor の症例の割合が高かった。Multi-hit 症例の予後は、*TP53* 変異のない症例と比べて有意に不良であるが、興味深いことに 1-hit 症例の全生存率(OS)と、AML への進展の累積割合は、*TP53* 陰性群のデータとほぼ同じであった(図 4 A,B)。OS と AML への進展に対する多変量解析を行うと、multi-hit 変異の存在は OS、AML への進展ともに有意かつ大きな影響を有しており、多変量解析でも独立した予後不良因子として抽出された。(Bernard, 南谷ら *Nat. Med.* 2020 )

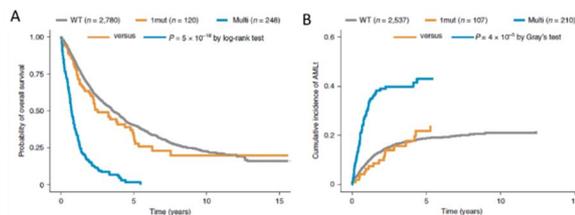


図 4

### C-2 慢性骨髄性白血病のクローン進化に関わる遺伝子異常の解明

慢性骨髄性白血病(CML)はフィラデルフィア染色体異常によって発症する造血器腫瘍である。慢性期・急性転化期の患者由来骨髄細胞のターゲットシーケンス解析を実施し、CMLのクローン進化に関わる遺伝子異常を網羅的に同定した。慢性期には *ASXL1* 変異が高頻度に認められるが他の遺伝子異常は稀であった。一方、急性転化期には *RUNX1*、*TP53*、*ABL1* 変異や染色体異常をはじめ、多数の遺伝子異常が獲得されていることが分かった。また、こうした遺伝子異常のいくつかは急性転化期患者の予後を予測する因子であることから、変異解析による患者層別化の可能性が示唆された。以上より CML のクローン進化における遺伝子異常の獲得と臨床的意義の全容を明らかにした。(越智ら、*Nat. Commun.* 2021)

### C-3 急性赤白血病(AEL)の遺伝子異常の網羅的解析

急性赤白血病(acute erythroid leukemia: AEL)は幼弱な赤芽球の顕著な増殖を特徴とする稀な白血病であり、未だ有効な治療法が確立されていない。我々は、包括的なマルチオミクス解析により AEL が赤血球系の顕著な増殖の原因と考えられるゲノムの異常の全貌を解明した。さらに、AEL を特徴づける変異が JAK-STAT シグナルパスウェイ亢進に寄与していることを明らかにし、これらの異常を有する急性赤白血病に対して、JAK1/2 阻害剤が有効であることを、患者腫瘍組織移植モデルを用いて明らかにした。(竹田ら、*Blood Cancer Discov.* 2022)。

### C-4 der(1;7)(q10;p10)陽性の骨髄異形成症候群のクローン進化メカニズムの解明

アジア人に高頻度で認められる不均衡転座、der(1;7)(q10;p10)は 1 番染色体と 7 番染色体の間で DNA 複製時に発生する派生性染色体である。我々は、der(1;7)(q10;p10)陽性症例の遺伝子変異とコピー数異常を解析し、この不均衡転座はほとんどの症例で早い段階で入る異常であることが判明した。約 16 万の健常人のコピー数検査を行ったところ、29 症例で der(1;7)(q10;p10)コピー数異常が見つかり、このうち 4 症例が骨髄異形成症候群や関連疾患によって亡くなったことから、この不均衡転座が病気の進行を促すことが示唆された。(奥田ら、投稿中)

### C-5 *DDX41* 変異をもつ先天性骨髄系腫瘍のクローン進化過程の解明

先天性急性骨髄性白血病 (AML) の素因のうち最も頻度が高い *DDX41* 胚細胞性変異に関して、臨床的に有用なエビデンスを確立するために、5000 症例以上の骨髄系腫瘍の網羅的なゲノム解析を通じて、疾患リスクのより正確な定量と浸透率を算出し、さらに臨床経過および予後・治療効果の予測に関する解析を行い、今後臨床の現場において有用となりえる複数の新規エビデンスを報告した(牧島ら、*Blood* 2023)

また、骨髄系腫瘍の発症における *DDX41* 変異アレルの役割を解明するために、*Ddx41* 条件的ノックアウトマウスおよびホットスポット体細胞変異(p.R525H)に関する条件的ノックインマウスを構築し、*Ddx41* 変異は自然免疫伝達経路やリボソーム生合成の異常を介して病態に関与することを明らかにした。*DDX41* 変異前がん細胞と、*DDX41* 胚細胞変異細胞により形成される周囲微小環境との相互作用とを模倣したマウスモデルの解明を通じて、*Ddx41*<sup>R525H/+</sup> 骨髄細胞が、周囲の造血に非細胞自律的な影響を及ぼすことも明らかにした。(昆ら、投稿準備中)

### C-6 腎盂尿管がんの遺伝子異常の網羅的解析

199 例の腎盂尿管がんの手術症例の解析を行い、遺伝子変異に基づくサブタイプ分類と予後・病理学的背景の相関を明らかにした。さらに、尿沈渣を解析することで、原発巣の遺伝子変異を検出が可能であった。これらの結果は、非侵襲的検査である尿沈渣を用いて、腎盂尿管がんの診断、サブタイプ分類、予後予測および治療方針の決定ができる可能性を示唆する結果が得られた。(藤井ら、*Cancer Cell*, 2021)

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計224件（うち査読付論文 171件 / うち国際共著 111件 / うちオープンアクセス 176件）

1. 著者名 Nannya Yasuhito, Tobiasson Magnus, Sato Shinya, Bernard Elsa, Ogawa Seishi, et al.	4. 巻 7
2. 論文標題 Postazacitidine clone size predicts long-term outcome of patients with myelodysplastic syndromes and related myeloid neoplasms	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Blood Advances	6. 最初と最後の頁 3624 ~ 3636
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/bloodadvances.2022009564	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 Makishima Hideki, Saiki Ryunosuke, Nannya Yasuhito, Ogawa Seishi, et al.	4. 巻 141
2. 論文標題 Germ line<i>DDX41</i>mutations define a unique subtype of myeloid neoplasms	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Blood	6. 最初と最後の頁 534 ~ 549
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/blood.2022018221	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 Nishimura Tomomi, Kakiuchi Nobuyuk, Yoshida Kenichi, Ogawa Seishi, et al.	4. 巻 620
2. 論文標題 Evolutionary histories of breast cancer and related clones	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Nature	6. 最初と最後の頁 607 ~ 614
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41586-023-06333-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Hirano-Lotman Yui, Ishida Yoshihiro, Endo Yuichiro, Ogawa Seishi, et al.	4. 巻 103
2. 論文標題 Cutaneous Adnexal Adenocarcinoma: Genomic Analysis and Successful HER2-targeted Therapy of Metastatic Disease	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Acta Dermato-Venereologica	6. 最初と最後の頁 adv9399 ~ adv9399
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2340/actadv.v103.9399	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nannya Yasuhito, Ogawa Seishi, et al.	4. 巻 7
2. 論文標題 Postazacitidine clone size predicts long-term outcome of patients with myelodysplastic syndromes and related myeloid neoplasms	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Blood Advances	6. 最初と最後の頁 3624 ~ 3636
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/bloodadvances.2022009564	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Yoshikawa T, Fukuda A, Omatsu M, Namikawa M, Sono M, Fukunaga Y, Masuda T, Araki O, Nagao M, Ogawa S, Masuo K, Goto N, Hiramatsu Y, Muta Y, Tsuda M, Maruno T, Nakanishi Y, Kawada K, Takaishi S, Seno H.	4. 巻 113-10
2. 論文標題 JNK pathway plays a critical role for expansion of human colorectal cancer in the context of BRG1 suppression.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Cancer Sci	6. 最初と最後の頁 3417-3427
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.15520	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yoshihara K, Nannya Y, Matsuda I, Samori M, Utsunomiya N, Okada M, Hirota S, Ogawa S, Yoshihara S.	4. 巻 -
2. 論文標題 T-cell lymphoma, B-cell lymphoma, and myelodysplastic syndrome harboring common mutations: Trilineage tumorigenesis from a common founder clone.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 EJHaem;3(1)	6. 最初と最後の頁 211-214
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/jha2.354	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yogo A, Masui T, Takaishi S, Masuo K, Chen R, Kasai Y, Nagai K, Anazawa T, Watanabe S, Sakamoto S, Watanabe A, Inagaki R, Nakagawa MM, Ogawa S, Seno H, Uemoto S, Hatano E.	4. 巻 114-4
2. 論文標題 Inhibition of dopamine receptor D1 signaling promotes human bile duct cancer progression via WNT signaling.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Cancer Sci	6. 最初と最後の頁 1324-1336
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.15676	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yasuda T, Ogawa S, et. al	4. 巻 -
2. 論文標題 Two novel high-risk adult B-cell acute lymphoblastic leukemia subtypes with high expression of CDX2 and IDH1/2 mutations.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Blood;139(12)	6. 最初と最後の頁 1850-1862
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/blood.2021011921	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamato G, Kawai T, Shiba N, Ikeda J, Hara Y, Ohki K, Tsujimoto SI, Kaburagi T, Yoshida K, Shiraishi Y, Miyano S, Kiyokawa N, Tomizawa D, Shimada A, Sotomatsu M, Arakawa H, Adachi S, Taga T, Horibe K, Ogawa S, Hata K, Hayashi Y.	4. 巻 6-11
2. 論文標題 Genome-wide DNA Methylation Analysis in Pediatric Acute Myeloid Leukemia.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Blood Adv	6. 最初と最後の頁 3207-3219
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/bloodadvances.2021005381.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamashita H, Arakawa Y, Terada Y, Takeuchi Y, Mineharu Y, Sumiyoshi S, Tokunaga S, Nakajima K, Kawabata N, Tanaka K, Tanji M, Umeda K, Minamiguchi S, Ogawa S, Haga H, Takita J, Miyamoto S.	4. 巻 -
2. 論文標題 Whole-genome sequencing analysis of an atypical teratoid/rhabdoid tumor in a patient with Phelan-McDermid syndrome: a case report and systematic review.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Brain Tumor Pathol;39(4)	6. 最初と最後の頁 232-239
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10014-022-00440-7.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yaguchi T, Kimura S, Sekiguchi M, Kubota Y, Seki M, Yoshida K, Shiraishi Y, Kataoka K, Fujii Y, Watanabe K, Hiwatari M, Miyano S, Ogawa S, Takita J.	4. 巻 -
2. 論文標題 Description of longitudinal tumor evolution in a case of multiply relapsed clear cell sarcoma of the kidney.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Cancer Rep (Hoboken);5(2)	6. 最初と最後の頁 e1458-e1458
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/cnr2.1458	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Watanabe K, Kimura S, Seki M, Isobe T, Kubota Y, Sekiguchi M, Sato-Otsubo A, Hiwatari M, Kato M, Oka A, Koh K, Sato Y, Tanaka H, Miyano S, Kawai T, Hata K, Ueno H, Nannya Y, Suzuki H, Yoshida K, Fujii Y, Nagae G, Aburatani H, Ogawa S., et al.	4. 巻 -
2. 論文標題 Identification of the ultrahigh-risk subgroup in neuroblastoma cases through DNA methylation analysis and its treatment exploiting cancer metabolism.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Oncogene;41(46)	6. 最初と最後の頁 4994-5007
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41388-022-02489-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Wang QS, Ogawa S, et. al	4. 巻 -
2. 論文標題 The whole blood transcriptional regulation landscape in 465 COVID-19 infected samples from Japan COVID-19 Task Force.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Nat Commun;13(1)	6. 最初と最後の頁 4830-4830
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-022-32276-2.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Vanni D, Borsani O, Nannya Y, Sant'Antonio E, Trotti C, Casetti IC, Pietra D, Galli A, Zibellini S, Ferretti VV, Malcovati L, Ogawa S, Arcaini L, Rumi E.	4. 巻 -
2. 論文標題 Haematological malignancies in relatives of patients affected with myeloproliferative neoplasms.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 EJHaem;3(2)	6. 最初と最後の頁 475-479
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/jha2.425	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Vanden Bempt M, Debackere K, Demeyer S, Van Thillo Q, Meeuws N, Fernandez CP, Provost S, Mentens N, Jacobs K, Gielen O, Nittner D, Ogawa S, Kataoka K, Graux C, Tousseyn T, Cools J, Dierickx D.	4. 巻 140-23
2. 論文標題 Aberrant MYCN expression drives oncogenic hijacking of EZH2 as a transcriptional activator in peripheral T cell lymphoma.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Blood	6. 最初と最後の頁 2463-2476
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/blood.2022016428	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Tsujimura M, Kaku Y, Takeuchi Y, Ishida Y, Fujimoto M, Usui S, Yamada Y, Ogawa S, Shea CR, Haga H.	4. 巻 -
2. 論文標題 Maturing papillomatous nevoid melanoma in the scalp mimicking recurrent melanocytic nevus: A case report of previously undescribed subtype of nevoid melanoma.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Pathol Int;72(1)	6. 最初と最後の頁 59-64
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/pin.13178	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tsuji N, Hosokawa K, Urushihara R, Tanabe M, Katagiri T, Ozawa T, Takamatsu H, Ishiyama K, Yamazaki H, Kishi H, Ogawa S, Nakao S.	4. 巻 -
2. 論文標題 Frequent HLA-DR loss on hematopoietic stem progenitor cells in patients with cyclosporine-dependent aplastic anemia carrying HLA-DR15.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Leukemia;36(6)	6. 最初と最後の頁 1666-1675
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41375-022-01549-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tasaka K, Ueno H, Yamasaki K, Okuno T, Isobe T, Kimura S, Umeda K, Hara J, Ogawa S, Takita J.	4. 巻 -
2. 論文標題 Oncogenic FGFR1 mutation and amplification in common cellular origin in a composite tumor with neuroblastoma and pheochromocytoma.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Cancer Sci;113(4)	6. 最初と最後の頁 1535-1541
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.15260	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tanaka K, Kato I, Dobashi Y, Imai JI, Mikami T, Kubota H, Ueno H, Ito M, Ogawa S, Nakahata T, Takita J, Toyoda H, Ogawa C, Adachi S, Watanabe S, Goto H.	4. 巻 -
2. 論文標題 The first Japanese biobank of patient-derived pediatric acute lymphoblastic leukemia xenograft models.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Cancer Sci	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.15506	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takeuchi Y, Yoshida K, Halik A, Kunitz A, Suzuki H, Kakiuchi N, Shiozawa Y, Yokoyama A, Inoue Y, Hirano T, Yoshizato T, Aoki K, Fujii Y, Nannya Y, Makishima H, Pfitzner BM, Bullinger L, Hirata M, Jinnouchi K, Shiraishi Y, Chiba K, Tanaka H, Miyano S, Okamoto T, Haga H, Ogawa S, Damm F.	4. 巻 -
2. 論文標題 The landscape of genetic aberrations in myxofibrosarcoma.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 . Int J Cancer;151(4)	6. 最初と最後の頁 565-577
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/ijc.34051	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takeuchi Y, Mineharu Y, Arakawa Y, Hara M, Oichi Y, Kamata T, Fukuyama K, Yamamoto Y, Yamanaka T, Kakiuchi N, Hiratomo E, Hirata M, Yokoo H, Hirose T, Minamiguchi S, Ogawa S, Muto M, Miyamoto S, Haga H.	4. 巻 -
2. 論文標題 A novel SREBF1::NACC1 gene fusion in an unclassifiable intracranial tumour.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Neuropathol Appl Neurobiol	6. 最初と最後の頁 e12843-e12843
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/nan.12843	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takeda J, Ogawa S, et. al	4. 巻 -
2. 論文標題 Amplified EPOR/JAK2 Genes Define a Unique Subtype of Acute Erythroid Leukemia.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Blood Cancer Discov;3(5)	6. 最初と最後の頁 410-427
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/2643-3230.BCD-21-0192	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takata M, Komori T, Ishida Y, Fujimoto M, Ogawa S, Kabashima K.	4. 巻 -
2. 論文標題 Basal cell carcinoma on the ventral site of the finger with an intronic deletion of SUFU gene.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 J Eur Acad Dermatol Venereol;36(2)	6. 最初と最後の頁 e128-e130
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jdv.17694	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shirai R, Osumi T, Sato-Otsubo A, Nakabayashi K, Mori T, Yoshida M, Yoshida K, Kohri M, Ishihara T, Yasue S, Imamura T, Endo M, Miyamoto S, Ohki K, Sanada M, Kiyokawa N, Ogawa S, Yoshioka T, Hata K, Takagi M, Kato M.	4. 巻 -
2. 論文標題 Genetic features of B-cell lymphoblastic lymphoma with TCF3-PBX1.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Cancer Rep (Hoboken);5(9)	6. 最初と最後の頁 e1559-e1559
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/cnr2.1559	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Shingaki S, Koya J, Yuasa M, Saito Y, Tabata M, McClure MB, Ogawa S, Katayama K, Togashi Y, Imoto S, Kogure Y, Kataoka K.	4. 巻 37-2
2. 論文標題 Tumor-promoting function and regulatory landscape of PD-L2 in B-cell lymphoma.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Leukemia	6. 最初と最後の頁 492-496
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41375-022-01772-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Shibata S, Inano S, Watanabe M, Fujiwara K, Ueno H, Nannya Y, Kanda J, Kawasaki N, Okamoto Y, Takiuchi Y, Fukunaga A, Tabata S, Ogawa S, Takaori-Kondo A, Kitano T.	4. 巻 -
2. 論文標題 Identification of an asymptomatic Shwachman-Bodian-Diamond syndrome mutation in a patient with acute myeloid leukemia.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Int J Hematol;115(3)	6. 最初と最後の頁 428-434
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12185-021-03251-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Sato-Otsubo A, Osumi T, Yoshida M, Iguchi A, Fukushima T, Nakabayashi K, Ogawa S, Hata K, Kato M.	4. 巻 -
2. 論文標題 Genomic analysis of two rare cases of pediatric Ph-positive T-ALL.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Pediatr Blood Cancer;69(3)	6. 最初と最後の頁 e29427-e29427
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/pbc.29427	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sakurai M, Nannya Y, Yamazaki R, Yamaguchi K, Koda Y, Abe R, Yokoyama K, Ogawa S, Mori T.	4. 巻 -
2. 論文標題 Germline RUNX1 translocation in familial platelet disorder with propensity to myeloid malignancies.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Ann Hematol;101(1)	6. 最初と最後の頁 237-239
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00277-021-04430-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Saito K, Sato T, Notohara K, Nannya Y, Ogawa S, Ueda Y.	4. 巻 61-21
2. 論文標題 Complete Bone Marrow Necrosis with Charcot-Leyden Crystals Caused by Myeloid Neoplasm with Mutated NPM1 and TET2.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Intern Med	6. 最初と最後の頁 3265-3269
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2169/internalmedicine.8859-21	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sagawa R, Sakata S, Gong B, Seto Y, Takemoto A, Takagi S, Ninomiya H, Yanagitani N, Nakao M, Mun M, Uchibori K, Nishio M, Miyazaki Y, Shiraishi Y, Ogawa S, Kataoka K, Fujita N, Takeuchi K, Katayama R.	4. 巻 -
2. 論文標題 Soluble PD-L1 works as a decoy in lung cancer immunotherapy via alternative polyadenylation.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 JCI Insight;7(1)	6. 最初と最後の頁 e153323
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1172/jci.insight.153323	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ogawa S.	4. 巻 -
2. 論文標題 Targeting lineage plasticity overcomes chemoresistance.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Cancer Cell;40(9)	6. 最初と最後の頁 905-907
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ccell.2022.08.020	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ogasawara T, Fujii Y, Kakiuchi N, Shiozawa Y, Sakamoto R, Ogawa Y, Ootani K, Ito E, Tanaka T, Watanabe K, Yoshida Y, Kimura N, Shiraishi Y, Chiba K, Tanaka H, Miyano S, Ogawa S.	4. 巻 -
2. 論文標題 Genetic Analysis of Pheochromocytoma and Paraganglioma Complicating Cyanotic Congenital Heart Disease.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 J Clin Endocrinol Metab;107(9)	6. 最初と最後の頁 2545-2555
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1210/clinem/dgac362.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nishikubo M, Hiramoto N, Yamashita D, Imoto H, Sato Y, Okuno Y, Haga H, Nannya Y, Ogawa S, Kimura H, Ishikawa T.	4. 巻 -
2. 論文標題 Elderly-onset systemic Epstein-Barr virus-positive T-cell lymphoma of childhood.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Pathol Int;72(7)	6. 最初と最後の頁 376-378
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/pin.13231	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Namkoong H, Ogawa S, et. al	4. 巻 609-7928
2. 論文標題 DOCK2 is involved in the host genetics and biology of severe COVID-19.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Nature	6. 最初と最後の頁 754-760
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41586-022-05163-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nakamura F, Nakamura Y, Nannya Y, Arai H, Shimbo K, Nakamura Y, Seo S, Sasaki K, Ichikawa M, Ogawa S, Mitani K.	4. 巻 -
2. 論文標題 Emergence of t(3;21)(q26.2;q22) during eltrombopag treatment in a patient with relapsed aplastic anemia who received chemotherapy for angioimmunoblastic T-cell lymphoma.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Leuk Res Rep;17	6. 最初と最後の頁 100305-100305
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.lrr.2022.100305	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nagao M, Fukuda A, Omatsu M, Namikawa M, Sono M, Fukunaga Y, Masuda T, Araki O, Yoshikawa T, Ogawa S, Masuo K, Goto N, Hiramatsu Y, Muta Y, Tsuda M, Maruno T, Nakanishi Y, Taketo MM, Ferrer J, Tsuruyama T, Nakanuma Y, Taura K, Uemoto S, Seno H.	4. 巻 -
2. 論文標題 Concurrent Activation of Kras and Canonical Wnt Signaling Induces Premalignant Lesions That Progress to Extrahepatic Biliary Cancer in Mice.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Cancer Res;82(9)	6. 最初と最後の頁 1803-1817
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/0008-5472.CAN-21-2176	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nagahata Y, Masuda K, Nishimura Y, Ikawa T, Kawaoka S, Kitawaki T, Nanya Y, Ogawa S, Suga H, Satou Y, Takaori-Kondo A, Kawamoto H.	4. 巻 140-24
2. 論文標題 Tracing the evolutionary history of blood cells to the unicellular ancestor of animals.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Blood	6. 最初と最後の頁 2611-2625
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/blood.2022016286	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Morita Y, Nannya Y, Ichikawa M, Hanamoto H, Shibayama H, Maeda Y, Hata T, Miyamoto T, Kawabata H, Takeuchi K, Tanaka H, Kishimoto J, Miyano S, Matsumura I, Ogawa S, Akashi K, Kanakura Y, Mitani K.	4. 巻 116-5
2. 論文標題 ASXL1 mutations with serum EPO levels predict poor response to darbepoetin alfa in lower-risk MDS: W-JHS MDS01 trial.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Int J Hematol	6. 最初と最後の頁 659-668
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12185-022-03414-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mori T, Okamoto Y, Mu A, Ide Y, Yoshimura A, Senda N, Inagaki-Kawata Y, Kawashima M, Kitao H, Tokunaga E, Miyoshi Y, Ohsumi S, Tsugawa K, Ohta T, Katagiri T, Ohtsuru S, Koike K, Ogawa S, Toi M, Iwata H, Nakamura S, Matsuo K, Takata M.	4. 巻 12-6
2. 論文標題 Lack of impact of the ALDH2 rs671 variant on breast cancer development in Japanese BRCA1/2-mutation carriers.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Cancer Med	6. 最初と最後の頁 6594-6602
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/cam4.5430	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mikami T, Kato I, Wing JB, Ueno H, Tasaka K, Tanaka K, Kubota H, Saida S, Umeda K, Hiramatsu H, Isobe T, Hiwatari M, Okada A, Chiba K, Shiraishi Y, Tanaka H, Miyano S, Arakawa Y, Oshima K, Koh K, Adachi S, Iwaisako K, Ogawa S, Sakaguchi S, Takita J.	4. 巻 -
2. 論文標題 Alteration of the immune environment in bone marrow from children with recurrent B cell precursor acute lymphoblastic leukemia.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Cancer Sci;113(1)	6. 最初と最後の頁 41-52
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.15186	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Makishima H, Ogawa S, et. al	4. 巻 141-5
2. 論文標題 Germline DDX41 mutations define a unique subtype of myeloid neoplasms.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Blood	6. 最初と最後の頁 534-549
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/blood.2022018221	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Li X, Shong K, Kim W, Yuan M, Yang H, Sato Y, Kume H, Ogawa S, Turkez H, Shoaie S, Boren J, Nielsen J, Uhlen M, Zhang C, Mardinoglu A.	4. 巻 -
2. 論文標題 Prediction of drug candidates for clear cell renal cell carcinoma using a systems biology-based drug repositioning approach.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 EBioMedicine;78	6. 最初と最後の頁 103963-103963
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ebiom.2022.103963	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kumagai K, Shimizu T, Takai A, Kakiuchi N, Takeuchi Y, Hirano T, Takeda H, Mizuguchi A, Teramura M, Ito T, Iguchi E, Nikaido M, Eso Y, Takahashi K, Ueda Y, Miyamoto SI, Obama K, Ogawa S, Marusawa H, Seno H.	4. 巻 82-9
2. 論文標題 Expansion of gastric intestinal metaplasia with copy number aberrations contributes to field cancerization.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Cancer Res	6. 最初と最後の頁 1712-1723
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/0008-5472.CAN-21-1523	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kudo K, Kubota Y, Toki T, Kanezaki R, Kobayashi A, Sato T, Kamio T, Sasaki S, Shiba N, Tomizawa D, Adachi S, Yoshida K, Ogawa S, Seki M, Takita J, Terui K.	4. 巻 -
2. 論文標題 Childhood acute myeloid leukemia with 5q deletion and HNRNP1-MLLT10 fusion: The first case report.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Blood Adv	6. 最初と最後の頁 3162-3166
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/bloodadvances.2021006383.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kogure Y, Ogawa S, et. al	4. 巻 -
2. 論文標題 Whole-genome landscape of adult T-cell leukemia/lymphoma.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Blood;139(7)	6. 最初と最後の頁 967-982
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/blood.2021013568.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kobayashi A, Ohtaka R, Toki T, Hara J, Muramatsu H, Kanezaki R, Takahashi Y, Sato T, Kamio T, Kudo K, Sasaki S, Yoshida T, Utsugisawa T, Kanno H, Yoshida K, Nannya Y, Takahashi Y, Kojima S, Miyano S, Ogawa S, Terui K, Ito E.	4. 巻 3-1
2. 論文標題 Dyserythropoietic anaemia with an intronic GATA1 splicing mutation in patients suspected to have Diamond-Blackfan anaemia.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 EJHaem;3(1)	6. 最初と最後の頁 163-167
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/jha2.374	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kelkka T, Tyster M, Lundgren S, Feng X, Kerr C, Hosokawa K, Huuhtanen J, Keranen M, Patel B, Kawakami T, Maeda Y, Nieminen O, Kasanen T, Aronen P, Yadav B, Rajala H, Nakazawa H, Jaatinen T, Hellstrom-Lindberg E, Ogawa S, Ishida F, Nishikawa H, Nakao S, Maciejewski J, Young NS, Mustjoki S.	4. 巻 -
2. 論文標題 Anti-COX-2 autoantibody is a novel biomarker of immune aplastic anemia.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Leukemia;36(9)	6. 最初と最後の頁 2317-2327
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41375-022-01654-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kato H, Maezawa Y, Nishijima D, Iwamoto E, Takeda J, Kanamori T, Yamaga M, Mishina T, Takeda Y, Izumi S, Hino Y, Nishi H, Ishiko J, Takeuchi M, Kaneko H, Koshizaka M, Mimura N, Kuzuya M, Sakaida E, Takemoto M, Shiraishi Y, Miyano S, Ogawa S, Iwama A, Sanada M, Yokote K.	4. 巻 109-
2. 論文標題 High prevalence of myeloid malignancies in progeria with Werner syndrome is associated with p53 insufficiency.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Exp Hematol	6. 最初と最後の頁 11-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.exphem.2022.02.005	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Katagiri T, Espinoza JL, Uemori M, Ikeda H, Hosokawa K, Ishiyama K, Yoroidaka T, Imi T, Takamatsu H, Ozawa T, Kishi H, Yamamoto Y, Elbadry MI, Yoshida Y, Chonabayashi K, Takenaka K, Akashi K, Nannya Y, Ogawa S, Nakao S.	4. 巻 -
2. 論文標題 Hematopoietic stem progenitor cells with malignancy-related gene mutations in patients with acquired aplastic anemia are characterized by the increased expression of CXCR4.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 EJHaem;3(3)	6. 最初と最後の頁 669-680
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/jha2.515	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kameda T, Shide K, Kamiunten A, Kogure Y, Morishita D, Koya J, Tahira Y, Akizuki K, Yokomizo-Nakano T, Kubota S, Marutsuka K, Sekine M, Hidaka T, Kubuki Y, Kitai Y, Matsuda T, Yoda A, Ohshima T, Sugiyama M, Sashida G, Kataoka K, Ogawa S, Shimoda K.	4. 巻 -
2. 論文標題 CARD11 mutation and HBZ expression induce lymphoproliferative disease and adult T-cell leukemia/lymphoma.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Commun Biol;5(1)	6. 最初と最後の頁 1309-1309
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s42003-022-04284-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kaburagi T, Yamato G, Shiba N, Yoshida K, Hara Y, Tabuchi K, Shiraishi Y, Ohki K, Sotomatsu M, Arakawa H, Matsuo H, Shimada A, Taki T, Kiyokawa N, Tomizawa D, Horibe K, Miyano S, Taga T, Adachi S, Ogawa S, Hayashi Y.	4. 巻 -
2. 論文標題 Clinical significance of RAS pathway alterations in pediatric acute myeloid leukemia.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Haematologica;107(3)	6. 最初と最後の頁 583-592
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3324/haematol.2020.269431	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kaburagi T, Shiba N, Yamato G, Yoshida K, Tabuchi K, Ohki K, Ishikita E, Hara Y, Shiraishi Y, Kawasaki H, Sotomatsu M, Takizawa T, Taki T, Kiyokawa N, Tomizawa D, Horibe K, Miyano S, Taga T, Adachi S, Ogawa S, Hayashi Y.	4. 巻 62-4
2. 論文標題 UBTF-internal tandem duplication as a novel poor prognostic factor in pediatric acute myeloid leukemia.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Genes Chromosomes Cancer	6. 最初と最後の頁 202-209
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/gcc.23110	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Isobe T, Ogawa S, et. al	4. 巻 -
2. 論文標題 Multi-omics analysis defines highly refractory RAS burdened immature subgroup of infant acute lymphoblastic leukemia.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Nat Commun;13(1)	6. 最初と最後の頁 4501-4501
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-022-32266-4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ishiyama K, Dung TC, Imi T, Hosokawa K, Nannya Y, Yamazaki H, Ogawa S, Nakao S.	4. 巻 -
2. 論文標題 Clinical significance of the increased expression of the WT1 gene in peripheral blood of patients with acquired aplastic anemia.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 EJHaem;3(4)	6. 最初と最後の頁 1116-1125
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/jha2.563	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ishitsuka K, Yoshizawa Y, Nishikii H, Kusakabe M, Ito Y, Inadome Y, Sakamoto T, Kato T, Kurita N, Yokoyama Y, Obara N, Hasegawa Y, Nannya Y, Ogawa S, Sakata-Yanagimoto M, Chiba S.	4. 巻 -
2. 論文標題 Novel translocation of POGZ/STK11 in de novo mast cell leukemia with KIT D816H mutation.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Leuk Lymphoma	6. 最初と最後の頁 3475-3479
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/10428194.2022.2123235	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Honda T, Yamaoka M, Terao YM, Hasegawa D, Kumamoto T, Takagi M, Yoshida K, Ogawa S, Goto H, Akiyama M.	4. 巻 -
2. 論文標題 Successful treatment of hepatosplenic T-cell lymphoma with fludarabine, high-dose cytarabine and subsequent unrelated umbilical cord blood transplantation.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Int J Hematol;115(1)	6. 最初と最後の頁 140-145
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12185-021-03229-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hiwatari M, Seki M, Matsuno R, Yoshida K, Nagasawa T, Sato-Otsubo A, Yamamoto S, Kato M, Watanabe K, Sekiguchi M, Miyano S, Ogawa S, Takita J.	4. 巻 -
2. 論文標題 Novel TEN3-ALK fusion is an alternate mechanism for ALK activation in neuroblastoma.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Oncogene;41(20)	6. 最初と最後の頁 2789-2797
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41388-022-02301-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Guzzi N, Muthukumar S, Ciesla M, Todisco G, Ngoc PCT, Madej M, Munita R, Fazio S, Ekstrom S, Mortera-Blanco T, Jansson M, Nannya Y, Cazzola M, Ogawa S, Malcovati L, Hellstrom-Lindberg E, Dimitriou M, Bellodi C.	4. 巻 -
2. 論文標題 Pseudouridine-modified tRNA fragments repress aberrant protein synthesis and predict leukaemic progression in myelodysplastic syndrome.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Nat Cell Biol;24(3)	6. 最初と最後の頁 299-306
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41556-022-00852-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Fukuhara S, Ogawa S, et. al	4. 巻 113-8
2. 論文標題 Feasibility and clinical utility of comprehensive genomic profiling of hematological malignancies.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Cancer Sci	6. 最初と最後の頁 2763-2777
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.15427	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Duncavage EJ, Ogawa S, et. al	4. 巻 140-21
2. 論文標題 Genomic Profiling for Clinical Decision Making in Myeloid Neoplasms and Acute Leukemia.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Blood	6. 最初と最後の頁 2228-2247
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/blood.2022015853	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Chin DWL, Yoshizato T, Viriding Culleton S, Grasso F, Barbachowska M, Ogawa S, Jacobsen SEW, Woll PS.	4. 巻 -
2. 論文標題 Aged healthy mice acquire clonal hematopoiesis mutations.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Blood;139(4)	6. 最初と最後の頁 629-634
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/blood.2021014235	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Butler-Laporte G, Ogawa S, et. al	4. 巻 18-11
2. 論文標題 Exome-wide association study to identify rare variants influencing COVID-19 outcomes: Results from the Host Genetics Initiative.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 PLoS Genet;18(11):e1010367	6. 最初と最後の頁 1010367-1010367
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pgen.1010367	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Asimomitis G, Deslauriers AG, Kotini AG, Bernard E, Esposito D, Olszewska M, Spyrou N, Arango Ossa JE, Mortera-Blanco T, Koche RP, Nannya Y, Malcovati L, Ogawa S, Cazzola M, Aaronson SA, Hellstrom-Lindberg E, Papaemmanuil E, Papapetrou EP.	4. 巻 6-10
2. 論文標題 Patient-specific MDS-RS iPSCs define the mis-spliced transcript repertoire and chromatin landscape of SF3B1-mutant HSPCs.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Blood Adv	6. 最初と最後の頁 2992-3005
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/bloodadvances.2021006325	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Arita K, Murakami J, Iwaki N, Hosono N, Tasaki T, Tsujikawa T, Okazawa H, Imi T, Nannya Y, Ogawa S, Nakao S.	4. 巻 -
2. 論文標題 An eltrombopag-induced remission of bone-marrow aplasia accompanied by marked leukoerythroblastosis and splenomegaly.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Br J Haematol;198(5)	6. 最初と最後の頁 e75-e77
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/bjh.18342	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Arends CM, Dimitriou S, Stahler A, Hablesreiter R, Strzelecka PM, Stein CM, Tilgner M, Saiki R, Ogawa S, Bullinger L, Modest DP, Stintzing S, Heinemann V, Damm F.	4. 巻 -
2. 論文標題 Clonal hematopoiesis is associated with improved survival in patients with metastatic colorectal cancer from the FIRE-3 trial.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Blood;139(10)	6. 最初と最後の頁 1593-1597
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/blood.2021014108	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Arber DA, Ogawa S, et. al	4. 巻 -
2. 論文標題 International Consensus Classification of Myeloid Neoplasms and Acute Leukemia: Integrating Morphological, Clinical, and Genomic Data.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Blood	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/blood.2022015850	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Watase M, Ogawa S, et. al	4. 巻 -
2. 論文標題 Impact of accumulative smoking exposure and chronic obstructive pulmonary disease on COVID-19 outcomes: report based on findings from the Japan COVID-19 task force.	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Int J Infect Dis;128	6. 最初と最後の頁 121-127
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ijid.2022.12.019	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shimizu Y, Nishikii H, Iitsuka T, Matsuoka R, Kurita N, Sakamoto T, Yokoyama Y, Kato T, Suehara Y, Hattori K, Maruyama Y, Nannya Y, Ogawa S, Sakata-Yanagimoto M, Chiba S, Obara N.	4. 巻 -
2. 論文標題 [Hematopoietic recovery by ASXL1-mutated clones after immune suppressive therapy in a patient with severe aplastic anemia].	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Rinsho Ketsueki;64(1)	6. 最初と最後の頁 49-53
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11406/rinketsu.64.49	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sakurai M, Wakabayashi T, Kondo Y, Ikeda E, Watanabe K, Takei A, Okazaki H, Okada K, Ebihara K, Kakiuchi N, Ogawa S, Fukushima N, Ishibashi S.	4. 巻 -
2. 論文標題 A case of vasoactive intestinal peptide-secreting tumor (VIPoma) arising from MEN1 inactivation which recurred 15 years after the initial resection.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Endocr J	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1507/endocrj.EJ22-0578	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Saiki R, Ogawa S.	4. 巻 -
2. 論文標題 Adult Low-Hypodiploid Acute Lymphoblastic Leukemia Evolves from TP53-Mutated Clonal Hematopoiesis.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Blood Cancer Discov;4(2)	6. 最初と最後の頁 102-105
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/2643-3230.BCD-23-0006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kumagai K, Shimizu T, Nikaido M, Hirano T, Kakiuchi N, Takeuchi Y, Minamiguchi S, Sakurai T, Teramura M, Utsumi T, Hiramatsu Y, Nakanishi Y, Takai A, Miyamoto S, Ogawa S, Seno H.	4. 巻 259-4
2. 論文標題 On the origin of gastric tumours: analysis of a case with intramucosal gastric carcinoma and oxyntic gland adenoma.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 J Pathol	6. 最初と最後の頁 362-368
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/path.6050	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kataoka A, Mizumoto C, Kanda J, Iwasaki M, Sakurada M, Oka T, Fujimoto M, Yamamoto Y, Yamashita K, Nannya Y, Ogawa S, Takaori-Kondo A.	4. 巻 117-6
2. 論文標題 Successful azacitidine therapy for myelodysplastic syndrome associated with VEXAS syndrome.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Int J Hematol	6. 最初と最後の頁 919-924
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12185-023-03532-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kameda T, Ogawa S, et. al	4. 巻 108-8
2. 論文標題 Integrated genetic and clinical prognostic factors for aggressive adult T-cell leukemia/lymphoma.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Haematologica	6. 最初と最後の頁 2178-2191
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3324/haematol.2022.281510	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Bernard E, Tuechler H, Greenberg PL, Hasserjian RP, Arango Ossa JE, Nannya Y, et al.	4. 巻 -
2. 論文標題 The Molecular International Prognostic Scoring System (IPSS-M) for risk stratification in myelodysplastic syndromes.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 NEJM Evid;1(7)	6. 最初と最後の頁 oa2200008
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1056/EVIDoa2200008	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Fujii Yoichi, Ogawa Seishi, et al.	4. 巻 39
2. 論文標題 Molecular classification and diagnostics of upper urinary tract urothelial carcinoma	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Cancer Cell	6. 最初と最後の頁 793 ~ 809.e8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ccell.2021.05.008	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kato Hisaya, Ogawa Seishi, et al.	4. 巻 109
2. 論文標題 A high prevalence of myeloid malignancies in progeria with Werner syndrome is associated with p53 insufficiency	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Experimental Hematology	6. 最初と最後の頁 11 ~ 17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.exphem.2022.02.005	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Li Xiangyu, Kim Woonghee, Arif Muhammad, Ogawa Seishi., et al.	4. 巻 13
2. 論文標題 Discovery of Functional Alternatively Spliced PKM Transcripts in Human Cancers	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Cancers	6. 最初と最後の頁 348 ~ 348
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/cancers13020348	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Li Xiangyu, Kim Woonghee, Juszczak Kajetan, Arif Muhammad, Sato Yusuke, Kume Haruki, Ogawa Seishi, Turkez Hasan, Boren Jan, Nielsen Jens, Uhlen Mathias, Zhang Cheng, Mardinoglu Adil	4. 巻 24
2. 論文標題 Stratification of patients with clear cell renal cell carcinoma to facilitate drug repositioning	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 iScience	6. 最初と最後の頁 102722 ~ 102722
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.isci.2021.102722	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Mikami Takashi, Ogawa Seishi, et al.	4. 巻 113
2. 論文標題 Alteration of the immune environment in bone marrow from children with recurrent B cell precursor acute lymphoblastic leukemia	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Cancer Science	6. 最初と最後の頁 41 ~ 52
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.15186	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Nikaido Mitsuhiro, Ogawa Seishi, et al.	4. 巻 24
2. 論文標題 Indolent feature of Helicobacter pylori-uninfected intramucosal signet ring cell carcinomas with CDH1 mutations	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Gastric Cancer	6. 最初と最後の頁 1102 ~ 1114
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10120-021-01191-8	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ochi Yotaro, Ogawa Seishi, et al.	4. 巻 12
2. 論文標題 Clonal evolution and clinical implications of genetic abnormalities in blastic transformation of chronic myeloid leukaemia	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-021-23097-w	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sagawa Ray, Sakata Seiji, Gong Bo, Seto Yosuke, Takemoto Ai, Takagi Satoshi, Ninomiya Hironori, Yanagitani Noriko, Nakao Masayuki, Mun Mingyon, Uchibori Ken, Nishio Makoto, Miyazaki Yasunari, Shiraishi Yuichi, Ogawa Seishi, Kataoka Keisuke, Fujita Naoya, Takeuchi Kengo, Katayama Ryohei	4. 巻 7
2. 論文標題 Soluble PD-L1 works as a decoy in lung cancer immunotherapy via alternative polyadenylation	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 JCI Insight	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1172/jci.insight.153323	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Saiki Ryunosuke, Ogawa Seishi, et al.	4. 巻 27
2. 論文標題 Combined landscape of single-nucleotide variants and copy number alterations in clonal hematopoiesis	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Nature Medicine	6. 最初と最後の頁 1239 ~ 1249
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41591-021-01411-9	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sato Otsubo Aiko, Osumi Tomoo, Yoshida Masanori, Iguchi Akihiro, Fukushima Takashi, Nakabayashi Kazuhiko, Ogawa Seishi, Hata Kenichiro, Kato Motohiro	4. 巻 69
2. 論文標題 Genomic analysis of two rare cases of pediatric Ph positive T ALL	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Pediatric Blood Cancer	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/pbc.29427	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Shimada Kazuyuki, Ogawa Seishi, et al.	4. 巻 137
2. 論文標題 Frequent genetic alterations in immune checkpoint related genes in intravascular large B-cell lymphoma	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Blood	6. 最初と最後の頁 1491 ~ 1502
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/blood.2020007245	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Tasaka Keiji, Ueno Hiroo, Yamasaki Kai, Okuno Takahiro, Isobe Tomoya, Kimura Shunsuke, Umeda Katsutsugu, Hara Junichi, Ogawa Seishi, Takita Junko	4. 巻 113
2. 論文標題 Oncogenic FGFR1 mutation and amplification in common cellular origin in a composite tumor with neuroblastoma and pheochromocytoma	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Cancer Science	6. 最初と最後の頁 1535 ~ 1541
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.15260	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yasudo Hiroki, Ogawa Seishi, et al.	4. 巻 74
2. 論文標題 A Possible Association Between a Nucleotide Binding Domain LRR Containing Protein Family PYD Containing Protein 1 Mutation and an Autoinflammatory Disease Involving Liver Cirrhosis	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Hepatology	6. 最初と最後の頁 2296 ~ 2299
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/hep.31818	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kakiuchi Nobuyuki, Ogawa Seishi	4. 巻 21
2. 論文標題 Clonal expansion in non-cancer tissues	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Nature Reviews Cancer	6. 最初と最後の頁 239 ~ 256
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41568-021-00335-3	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ogawa Seishi	4. 巻 28
2. 論文標題 A growing genetic tree in the soil of prostate	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Cell Stem Cell	6. 最初と最後の頁 1185 ~ 1187
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.stem.2021.06.002	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Aoki Kosuke, Ogawa Seishi, et al.	4. 巻 81
2. 論文標題 Mathematical Modeling and Mutational Analysis Reveal Optimal Therapy to Prevent Malignant Transformation in Grade II IDH-Mutant Gliomas	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Cancer Research	6. 最初と最後の頁 4861 ~ 4873
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/0008-5472.CAN-21-0985	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Arends Christopher Maximilian, Dimitriou Savvina, Stahler Arndt, Hablesreiter Raphael, Strzelecka Paulina M., Stein Catarina M., Tilgner Marlon, Saiki Ryunosuke, Ogawa Seishi, Bullinger Lars, Modest Dominik P., Stintzing Sebastian, Heinemann Volker, Damm Frederik	4. 巻 139
2. 論文標題 Clonal hematopoiesis is associated with improved survival in patients with metastatic colorectal cancer from the FIRE-3 trial	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Blood	6. 最初と最後の頁 1593 ~ 1597
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/blood.2021014108	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Asimomitis Georgios, Ogawa Seishi, et al.	4. 巻 6
2. 論文標題 Patient-specific MDS-RS iPSCs define the mis-spliced transcript repertoire and chromatin landscape of SF3B1 mutant HSPCs	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Blood Advances	6. 最初と最後の頁 2992 ~ 3005
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/bloodadvances.2021006325	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Chin Desmond Wai Loon, Yoshizato Tetsuichi, Viriding Culleton Stina, Grasso Francesca, Barbachowska Magdalena, Ogawa Seishi, Jacobsen Sten Eirik W., Woll Petter S.	4. 巻 139
2. 論文標題 Aged healthy mice acquire clonal hematopoiesis mutations	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Blood	6. 最初と最後の頁 629 ~ 634
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/blood.2021014235	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hirama Tomomi, Tokita Serina, Nakatsugawa Munehide, Murata Kenji, Nannya Yasuhito, Matsuo Kazuhiko, Inoko Hidetoshi, Hirohashi Yoshihiko, Hashimoto Shinichi, Ogawa Seishi, Takemasa Ichiro, Sato Noriyuki, Hata Fumitake, Kanaseki Takayuki, Torigoe Toshihiko	4. 巻 6
2. 論文標題 Proteogenomic identification of an immunogenic HLA class I neoantigen in mismatch repair deficient colorectal cancer tissue	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 JCI Insight	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1172/jci.insight.146356	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hirata Hidenari, Ogawa Seishi, et al.	4. 巻 81
2. 論文標題 The Evolving Genomic Landscape of Esophageal Squamous Cell Carcinoma Under Chemoradiotherapy	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Cancer Research	6. 最初と最後の頁 4926 ~ 4938
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/0008-5472.CAN-21-0653	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Honda Takaya, Yamaoka Masayoshi, Terao Yoko Mikami, Hasegawa Daisuke, Kumamoto Tadashi, Takagi Masatoshi, Yoshida Kenichi, Ogawa Seishi, Goto Hiroaki, Akiyama Masaharu	4. 巻 115
2. 論文標題 Successful treatment of hepatosplenic T-cell lymphoma with fludarabine, high-dose cytarabine and subsequent unrelated umbilical cord blood transplantation	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 International Journal of Hematology	6. 最初と最後の頁 140 ~ 145
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12185-021-03229-0	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hosokawa Kohei, Ogawa Seishi, et al.	4. 巻 137
2. 論文標題 HLA class I allele lacking leukocytes predict rare clonal evolution to MDS/AML in patients with acquired aplastic anemia	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Blood	6. 最初と最後の頁 3576 ~ 3580
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/blood.2020010586	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Honda Takaya, Yamaoka Masayoshi, Terao Yoko Mikami, Hasegawa Daisuke, Kumamoto Tadashi, Takagi Masatoshi, Yoshida Kenichi, Ogawa Seishi, Goto Hiroaki, Akiyama Masaharu	4. 巻 115
2. 論文標題 Successful treatment of hepatosplenic T-cell lymphoma with fludarabine, high-dose cytarabine and subsequent unrelated umbilical cord blood transplantation	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 International Journal of Hematology	6. 最初と最後の頁 140 ~ 145
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12185-021-03229-0	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hosokawa Kohei, Ogawa Seishi, et al.	4. 巻 137
2. 論文標題 HLA class I allele-lacking leukocytes predict rare clonal evolution to MDS/AML in patients with acquired aplastic anemia	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Blood	6. 最初と最後の頁 3576 ~ 3580
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/blood.2020010586	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 COVID-19 Host Genetics Initiative	4. 巻 600
2. 論文標題 Mapping the human genetic architecture of COVID-19	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Nature	6. 最初と最後の頁 472 ~ 477
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41586-021-03767-x	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kaburagi Taeko, Ogawa Seishi, et al.	4. 巻 -
2. 論文標題 Clinical significance of RAS pathway alterations in pediatric acute myeloid leukemia	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Haematologica	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3324/haematol.2020.269431	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kogure Yasunori, Ogawa Seishi, et al.	4. 巻 139
2. 論文標題 Whole-genome landscape of adult T-cell leukemia/lymphoma	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Blood	6. 最初と最後の頁 967 ~ 982
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/blood.2021013568	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Koya Junji, Ogawa Seishi, et al.	4. 巻 2
2. 論文標題 Single-Cell Analysis of the Multicellular Ecosystem in Viral Carcinogenesis by HTLV-1	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Blood Cancer Discovery	6. 最初と最後の頁 450 ~ 467
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/2643-3230.BCD-21-0044	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kudo Ko, Kubota Yasuo, Toki Tsutomu, Kanezaki Rika, Kobayashi Akie, Sato Tomohiko, Kamio Takuya, Sasaki Shinya, Shiba Norio, Tomizawa Daisuke, Adachi Souichi, Yoshida Kenichi, Ogawa Seishi, Seki Masafumi, Takita Junko, Ito Etsuro, Terui Kiminori	4. 巻 6
2. 論文標題 Childhood acute myeloid leukemia with 5q deletion and HNRNP1-MLLT10 fusion: the first case report	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Blood Advances	6. 最初と最後の頁 3162 ~ 3166
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/bloodadvances.2021006383	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 百瀬 春佳、加藤 貴康、栗田 尚樹、五月女 礼乃、坂田 (柳元) 麻実子、小原 直、長谷川 雄一、小川 誠司、千葉 滋、錦井 秀和、上妻 行則、太田 (堤) 育代、南谷 泰仁、吉田 近思、米野 琢哉、日下部 学、横山 泰久	4. 巻 62
2. 論文標題 後天性血小板機能異常による著明な出血傾向を呈したtriple negative原発性骨髄線維症	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 臨床血液	6. 最初と最後の頁 1406 ~ 1411
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11406/rinketsu.62.1406	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mu Anfeng, Hira Asuka, Niwa Akira, Osawa Mitsujiro, Yoshida Kenichi, Mori Minako, Okamoto Yusuke, Inoue Kazuko, Kondo Keita, Kanemaki Masato T., Matsuda Tomonari, Ito Etsuro, Kojima Seiji, Nakahata Tatsutoshi, Ogawa Seishi, Tanaka Keigo, Matsuo Keitaro, Saito Megumu K., Takata Minoru	4. 巻 137
2. 論文標題 Analysis of disease model iPSCs derived from patients with a novel Fanconi anemia-like IBMFS ADH5/ALDH2 deficiency	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Blood	6. 最初と最後の頁 2021 ~ 2032
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/blood.2020009111	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Murakami Ken, Yamaguchi Yuuta, Kida Yuko, Morikawa Yoichiro, Ujiie Hidetoshi, Sugahara Hiroyuki, Nannya Yasuhito, Ogawa Seishi, Kanakura Yuzuru	4. 巻 60
2. 論文標題 Clonal Cytopenia of Undetermined Significance in a Patient with Congenital Wilms' Tumor 1 and Acquired DNMT3A Gene Mutations	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Internal Medicine	6. 最初と最後の頁 3785 ~ 3788
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2169/internalmedicine.7571-21	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Nakamura Fumi, Arai Honoka, Nannya Yasuhito, Ichikawa Motoshi, Furuichi Shiho, Nagasawa Fusako, Takahashi Wataru, Handa Tomoyuki, Nakamura Yuko, Tanaka Hiroko, Nakamura Yuka, Sasaki Ko, Miyano Satoru, Ogawa Seishi, Mitani Kinuko	4. 巻 113
2. 論文標題 Development of Philadelphia chromosome-negative acute myeloid leukemia with IDH2 and NPM1 mutations in a patient with chronic myeloid leukemia who showed a major molecular response to tyrosine kinase inhibitor therapy	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 International Journal of Hematology	6. 最初と最後の頁 936 ~ 940
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12185-020-03074-7	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Okabe Motohito, Morishita Takanobu, Yasuda Takahiko, Sakaguchi Hiroto, Sanada Masashi, Kataoka Keisuke, Ogawa Seishi, Shiraishi Yuichi, Ichiki Tomoe, Kawaguchi Yuka, Ohbiki Marie, Matsumoto Rena, Osaki Masahide, Goto Tatsunori, Ozawa Yukiyasu, Miyamura Koichi	4. 巻 107
2. 論文標題 Targeted deep next generation sequencing identifies potential somatic and germline variants for predisposition to familial Burkitt lymphoma	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 European Journal of Haematology	6. 最初と最後の頁 166 ~ 169
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ejh.13629	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ono Rintaro, Ueno Hiroo, Yoshida Kenichi, Takahashi Satoko, Yoshihara Hiroki, Nozaki Taiki, Suzuki Koyu, Nakazawa Atsuko, Saiki Ryunosuke, Seki Masafumi, Takita Junko, Ogawa Seishi, Manabe Atsushi, Hasegawa Daisuke	4. 巻 112
2. 論文標題 Clonal evidence for the development of neuroblastoma with extensive copy neutral loss of heterozygosity arising in a mature teratoma	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Cancer Science	6. 最初と最後の頁 2921 ~ 2927
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.14931	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Saito Kenki, Sato Takayuki, Notohara Kenji, Nannya Yasuhito, Ogawa Seishi, Ueda Yasunori	4. 巻 -
2. 論文標題 Complete Bone Marrow Necrosis with Charcot-Leyden Crystals Caused by Myeloid Neoplasm with Mutated NPM1 and TET2	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Internal Medicine	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2169/internalmedicine.8859-21	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sakurai Masatoshi, Nannya Yasuhito, Yamazaki Rie, Yamaguchi Kentaro, Koda Yuya, Abe Ryohei, Yokoyama Kenji, Ogawa Seishi, Mori Takehiko	4. 巻 101
2. 論文標題 Germline RUNX1 translocation in familial platelet disorder with propensity to myeloid malignancies	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Annals of Hematology	6. 最初と最後の頁 237 ~ 239
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00277-021-04430-1	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sasaki Ko, Nannya Yasuhito, Nakamura Yuko, Ichikawa Motoshi, Ogawa Seishi, Mitani Kinuko	4. 巻 26
2. 論文標題 Essential thrombocythaemia with aggressive megakaryocytosis after myelofibrotic transformation	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Hematology	6. 最初と最後の頁 594 ~ 600
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/16078454.2021.1965714	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Senda Noriko, Ogawa Seishi, et al.	4. 巻 112
2. 論文標題 Optimization of prediction methods for risk assessment of pathogenic germline variants in the Japanese population	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Cancer Science	6. 最初と最後の頁 3338 ~ 3348
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.14986	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Shibata Sho, Inano Shojiro, Watanabe Mizuki, Fujiwara Kensuke, Ueno Hiroo, Nannya Yasuhito, Kanda Junya, Kawasaki Naoto, Okamoto Yoshio, Takiuchi Yoko, Fukunaga Akiko, Tabata Sumie, Ogawa Seishi, Takaori-Kondo Akifumi, Kitano Toshiyuki	4. 巻 115
2. 論文標題 Identification of an asymptomatic Shwachman Bodian Diamond syndrome mutation in a patient with acute myeloid leukemia	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 International Journal of Hematology	6. 最初と最後の頁 428 ~ 434
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12185-021-03251-2	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Shimizu Takuya, Kondo Tadakazu, Nannya Yasuhito, Watanabe Mizuki, Kitawaki Toshio, Shindo Takero, Hishizawa Masakatsu, Yamashita Kouhei, Ogawa Seishi, Takaori Kondo Akifumi	4. 巻 25
2. 論文標題 Next generation sequencing in two cases of de novo acute basophilic leukaemia	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Cellular and Molecular Medicine	6. 最初と最後の頁 7095 ~ 7099
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jcmm.16591	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Shirai Ryota, Ogawa Seishi, et al.	4. 巻 -
2. 論文標題 Genetic features of B cell lymphoblastic lymphoma with TCF3 PBX1	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Cancer Reports	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/cnr2.1559	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Takamatsu Kimiharu, Ogawa Seishi, et al.	4. 巻 12
2. 論文標題 Profiling the inhibitory receptors LAG-3, TIM-3, and TIGIT in renal cell carcinoma reveals malignancy	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-021-25865-0	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Takata M., Komori T., Ishida Y., Fujimoto M., Ogawa S., Kabashima K.	4. 巻 36
2. 論文標題 Basal cell carcinoma on the ventral site of the finger with an intronic deletion of SUFU gene	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of the European Academy of Dermatology and Venereology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jdv.17694	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Takeuchi Yoshiko, Ogawa Seishi, et al.	4. 巻 6
2. 論文標題 Highly immunogenic cancer cells require activation of the WNT pathway for immunological escape	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Science Immunology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1126/sciimmunol.abc6424	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Tsujimura Marina, Kaku Yo, Takeuchi Yasuhide, Ishida Yoshihiro, Fujimoto Masakazu, Usui Shunya, Yamada Yosuke, Ogawa Seishi, Shea Christopher R., Haga Hironori	4. 巻 72
2. 論文標題 Maturing papillomatous nevoid melanoma in the scalp mimicking recurrent melanocytic nevus: A case report of previously undescribed subtype of nevoid melanoma	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Pathology International	6. 最初と最後の頁 59 ~ 64
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/pin.13178	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Vandermeulen Charlotte, Ogawa Seishi, et al.	4. 巻 17
2. 論文標題 The HTLV-1 viral oncoproteins Tax and HBZ reprogram the cellular mRNA splicing landscape	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 PLOS Pathogens	6. 最初と最後の頁 e1009919
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.ppat.1009919	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Wada Fumiya, Hiramoto Nobuhiro, Yamashita Daisuke, Hara Shigeo, Furukawa Yutaka, Ishii Junko, Nagata Kazuma, Nannya Yasuhito, Ogawa Seishi, Ishikawa Takayuki	4. 巻 96
2. 論文標題 Dramatic response to encorafenib in a patient with Erdheim-Chester disease harboring the BRAFV600E mutation	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 American Journal of Hematology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/ajh.26232	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yamamoto Keita, Goyama Susumu, Asada Shuhei, Fujino Takeshi, Yonezawa Taishi, Sato Naru, Takeda Reina, Tsuchiya Akiho, Fukuyama Tomofusa, Tanaka Yosuke, Yokoyama Akihiko, Toya Hikaru, Kon Ayana, Nannya Yasuhito, Onoguchi-Mizutani Rena, Nakagawa Shinichi, Hirose Tetsuro, Ogawa Seishi, Akimitsu Nobuyoshi, Kitamura Toshio	4. 巻 36
2. 論文標題 A histone modifier, ASXL1, interacts with NONO and is involved in paraspeckle formation in hematopoietic cells	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Cell Reports	6. 最初と最後の頁 109576 ~ 109576
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.celrep.2021.109576	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yasuda Takahiko, Ogawa Seishi, et al.	4. 巻 139
2. 論文標題 Two novel high-risk adult B-cell acute lymphoblastic leukemia subtypes with high expression of CDX2 and IDH1/2 mutations	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Blood	6. 最初と最後の頁 1850 ~ 1862
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/blood.2021011921	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yoroidaka Takeshi, Hosokawa Kohei, Imi Tatsuya, Mizumaki Hiroki, Katagiri Takamasa, Ishiyama Ken, Yamazaki Hirohito, Azuma Fumihiro, Nanya Yasuhito, Ogawa Seishi, Nakao Shinji	4. 巻 35
2. 論文標題 Hematopoietic stem progenitor cells lacking HLA differ from those lacking GPI-anchored proteins in the hierarchical stage and sensitivity to immune attack in patients with acquired aplastic anemia	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Leukemia	6. 最初と最後の頁 3257 ~ 3267
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41375-021-01202-8	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yoshida Masanori, Ogawa Seishi, et al.	4. 巻 5
2. 論文標題 variants confer high incidence of second malignancies in children with acute lymphoblastic leukemia	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Blood Advances	6. 最初と最後の頁 5420 ~ 5428
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/bloodadvances.2021005507	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Nguyen Tran B. Ogawa Seishi et al.	4. 巻 80
2. 論文標題 Dasatinib Is an Effective Treatment for Angioimmunoblastic T-cell Lymphoma	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cancer Research	6. 最初と最後の頁 1875 ~ 1884
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/0008-5472.CAN-19-2787	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Secardin Lise, Limia Cintia Elisabeth Gomez, di Stefano Antonio, Bonamino Martin Hernan, Saliba Joseph, Kataoka Keisuke, Rehen Stevens K., Raslova Hana, Marty Caroline, Ogawa Seishi, Vainchenker William, Monte-Mor Barbara da Costa Reis, Plo Isabelle	4. 巻 44
2. 論文標題 TET2 haploinsufficiency alters reprogramming into induced pluripotent stem cells	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Stem Cell Research	6. 最初と最後の頁 101755 ~ 101755
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.scr.2020.101755	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Ochi Yotaro, Ogawa Seishi et al.	4. 巻 10
2. 論文標題 Combined Cohesin/RUNX1 Deficiency Synergistically Perturbs Chromatin Looping and Causes Myelodysplastic Syndromes	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cancer Discovery	6. 最初と最後の頁 836 ~ 853
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/2159-8290.CD-19-0982	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Jo Tomoyasu, Nishikori Momoko, Kogure Yasunori, Arima Hiroshi, Sasaki Katsuhiko, Sasaki Yoshiteru, Nakagawa Tomoko, Iwai Fumie, Momose Shuji, Shiraishi Aki, Kiyonari Hiroshi, Kagaya Noritaka, Onuki Tetsuo, Shin-ya Kazuo, Yoshida Minoru, Kataoka Keisuke, Ogawa Seishi, Iwai Kazuhiro, Takaori-Kondo Akifumi	4. 巻 136
2. 論文標題 LUBAC accelerates B-cell lymphomagenesis by conferring resistance to genotoxic stress on B cells	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Blood	6. 最初と最後の頁 684 ~ 697
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/blood.2019002654	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Malcovati Luca, Ogawa Seishi et al.	4. 巻 136
2. 論文標題 SF3B1-mutant MDS as a distinct disease subtype: a proposal from the International Working Group for the Prognosis of MDS	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Blood	6. 最初と最後の頁 157 ~ 170
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/blood.2020004850	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kanamori Takashi, Ogawa Seishi et al.	4. 巻 191
2. 論文標題 Genomic analysis of multiple myeloma using targeted capture sequencing in the Japanese cohort	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 British Journal of Haematology	6. 最初と最後の頁 755 ~ 763
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/bjh.16720	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Imataki Osamu, Ishida Tomoya, Kubo Hiroyuki, Uemura Makiko, Nanya Yasuhito, Kawakami Kimihiro, Ogawa Seishi, Kadowaki Norimitsu	4. 巻 13
2. 論文標題 A Case of Tyrosine Kinase Inhibitor-Resistant Chronic Myeloid Leukemia, Chronic Phase with ASXL1 Mutation	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Case Reports in Oncology	6. 最初と最後の頁 449 ~ 455
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1159/000506452	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mizumaki Hiroki, Ogawa Seishi et al.	4. 巻 -
2. 論文標題 A frequent nonsense mutation in exon 1 across certain HLA-A and -B alleles in leukocytes of patients with acquired aplastic anemia	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Haematologica	6. 最初と最後の頁 247809 ~ 247809
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3324/haematol.2020.247809	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Okano Tsubasa, Imai Kohsuke, Naruto Takuya, Okada Satoshi, Yamashita Motoi, Yeh Tzu-wen, Ono Shintaro, Tanaka Keisuke, Okamoto Keisuke, Tanita Kay, Matsumoto Kazuaki, Toyofuku Etsushi, Kumaki-Matsumoto Eri, Okamura Miko, Ueno Hiroo, Ogawa Seishi, Ohara Osamu, Takagi Masatoshi, Kanegane Hirokazu, Morio Tomohiro	4. 巻 40
2. 論文標題 Whole-Exome Sequencing-Based Approach for Germline Mutations in Patients with Inborn Errors of Immunity	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Clinical Immunology	6. 最初と最後の頁 729 ~ 740
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10875-020-00798-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yasuda Takahiko, Ogawa Seishi et al.	4. 巻 111
2. 論文標題 Clinical utility of target capture based panel sequencing in hematological malignancies: A multicenter feasibility study	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cancer Science	6. 最初と最後の頁 3367 ~ 3378
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.14552	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sekiguchi Masahiro, Ogawa Seishi et al.	4. 巻 4
2. 論文標題 Integrated multiomics analysis of hepatoblastoma unravels its heterogeneity and provides novel druggable targets	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 npj Precision Oncology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41698-020-0125-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nguyen Mai Anh Thi, Hosokawa Kohei, Yoroidaka Takeshi, Maruyama Hiroyuki, Espinoza J. Luis, Elbadry Mahmoud I., Mohiuddin Md, Tanabe Mikoto, Katagiri Takamasa, Nakagawa Noriharu, Chonabayashi Kazuhisa, Yoshida Yoshinori, Arima Nobuyoshi, Kashiwase Koichi, Saji Hiroh, Ogawa Seishi, Nakao Shinji	4. 巻 4
2. 論文標題 Resistance of KIR Ligand?Missing Leukocytes to NK Cells In Vivo in Patients with Acquired Aplastic Anemia	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 ImmunoHorizons	6. 最初と最後の頁 430 ~ 441
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4049/immunohorizons.2000046	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Bernard Elsa, Ogawa Seishi et al.	4. 巻 26
2. 論文標題 Implications of TP53 allelic state for genome stability, clinical presentation and outcomes in myelodysplastic syndromes	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Nature Medicine	6. 最初と最後の頁 1549 ~ 1556
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41591-020-1008-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Miyazaki Kazuko, Watanabe Hitomi, Yoshikawa Genki, Chen Kenian, Hidaka Reiko, Aitani Yuki, Osawa Kai, Takeda Rie, Ochi Yotaro, Tani-ichi Shizue, Uehata Takuya, Takeuchi Osamu, Ikuta Koichi, Ogawa Seishi, Kondoh Gen, Lin Yin C., Ogata Hiroyuki, Miyazaki Masaki	4. 巻 5
2. 論文標題 The transcription factor E2A activates multiple enhancers that drive Rag expression in developing T and B cells	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Science Immunology	6. 最初と最後の頁 1455 ~ 1455
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1126/sciimmunol.abb1455	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Koyamaishi Shun, Ogawa Seishi et al.	4. 巻 56
2. 論文標題 Reduced-intensity conditioning is effective for hematopoietic stem cell transplantation in young pediatric patients with Diamond-Blackfan anemia	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Bone Marrow Transplantation	6. 最初と最後の頁 1013 ~ 1020
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41409-020-01056-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Polprasert Chantana, Ogawa Seishi et al.	4. 巻 62
2. 論文標題 Frequent mutations in HLA and related genes in extranodal NK/T cell lymphomas	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Leukemia & Lymphoma	6. 最初と最後の頁 95 ~ 103
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/10428194.2020.1821011	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Matsuo Hidemasa, Ogawa Seishi et al.	4. 巻 4
2. 論文標題 Fusion partner specific mutation profiles and KRAS mutations as adverse prognostic factors in MLL-rearranged AML	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Blood Advances	6. 最初と最後の頁 4623 ~ 4631
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/bloodadvances.2020002457	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fukumoto Kota, Sakata-Yanagimoto Mamiko, Fujisawa Manabu, Sakamoto Tatsuhiko, Miyoshi Hiroaki, Suehara Yasuhito, Nguyen Tran B., Suma Sakurako, Yanagimoto Shintaro, Shiraishi Yuichi, Chiba Kenichi, Bouska Alyssa, Kataoka Keisuke, Ogawa Seishi, Iqbal Javeed, Ohshima Koichi, Chiba Shigeru	4. 巻 136
2. 論文標題 VAV1 mutations contribute to development of T-cell neoplasms in mice	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Blood	6. 最初と最後の頁 3018 ~ 3032
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/blood.2020006513	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kubota Yasuo, Ogawa Seishi et al.	4. 巻 3
2. 論文標題 Comprehensive genetic analysis of pediatric germ cell tumors identifies potential drug targets	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Communications Biology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s42003-020-01267-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Koyamaishi Shun, Ogawa Seishi et al.	4. 巻 56
2. 論文標題 Correction: Reduced-intensity conditioning is effective for hematopoietic stem cell transplantation in young pediatric patients with Diamond-Blackfan anemia	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Bone Marrow Transplantation	6. 最初と最後の頁 1218 ~ 1219
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41409-020-01076-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Inagaki-Kawata Yukiko, Ogawa Seishi et al.	4. 巻 3
2. 論文標題 Genetic and clinical landscape of breast cancers with germline BRCA1/2 variants	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Communications Biology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s42003-020-01301-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ueno Hiroo, Ogawa Seishi et al.	4. 巻 4
2. 論文標題 Landscape of driver mutations and their clinical impacts in pediatric B-cell precursor acute lymphoblastic leukemia	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Blood Advances	6. 最初と最後の頁 5165 ~ 5173
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/bloodadvances.2019001307	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Klimkowska Monika, Nannya Yasuhito, Ogawa Seishi, Nahi Hareth, Tobiasson Magnus, et al.	4. 巻 137
2. 論文標題 Absence of a common founder mutation in patients with cooccurring myelodysplastic syndrome and plasma cell disorder	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Blood	6. 最初と最後の頁 1260 ~ 1263
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/blood.2020007555	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Dingler Felix A., Ogawa Seishi et al.	4. 巻 80
2. 論文標題 Two Aldehyde Clearance Systems Are Essential to Prevent Lethal Formaldehyde Accumulation in Mice and Humans	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Molecular Cell	6. 最初と最後の頁 996 ~ 1012.e9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.molcel.2020.10.012	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Nishimura Akira, Hirabayashi Shinsuke, Hasegawa Daisuke, Yoshida Kenichi, Shiraishi Yuichi, Ashiarai Miho, Hosoya Yosuke, Fujiwara Tohru, Harigae Hideo, Miyano Satoru, Ogawa Seishi, Manabe Atsushi	4. 巻 68
2. 論文標題 Acquisition of monosomy 7 and a RUNX1 mutation in Pearson syndrome	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Pediatric Blood & Cancer	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/pbc.28799	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ogura Hiromi, Ohga Shouichi, Aoki Takako, Utsugisawa Taiju, Takahashi Hidehiro, Iwai Asayuki, Watanabe Kenichiro, Okuno Yusuke, Yoshida Kenichi, Ogawa Seishi, Miyano Satoru, Kojima Seiji, Yamamoto Toshiyuki, Yamamoto-Shimajima Keiko, Kanno Hitoshi	4. 巻 7
2. 論文標題 Novel COL4A1 mutations identified in infants with congenital hemolytic anemia in association with brain malformations	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Human Genome Variation	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41439-020-00130-w	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ishida Yoshihiro, Ogawa Seishi et al.	4. 巻 27
2. 論文標題 Unbiased Detection of Driver Mutations in Extramammary Paget Disease	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Clinical Cancer Research	6. 最初と最後の頁 1756 ~ 1765
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/1078-0432.CCR-20-3205	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Todisco Gabriele, Ogawa Seishi et al.	4. 巻 -
2. 論文標題 Co-mutation pattern, clonal hierarchy, and clone size concur to determine disease phenotype of SRSF2P95-mutated neoplasms	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Leukemia	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41375-020-01106-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Nakamura Fumi, Arai Honoka, Nannya Yasuhito, Ichikawa Motoshi, Furuichi Shiho, Nagasawa Fusako, Takahashi Wataru, Handa Tomoyuki, Nakamura Yuko, Tanaka Hiroko, Nakamura Yuka, Sasaki Ko, Miyano Satoru, Ogawa Seishi, Mitani Kinuko	4. 巻 -
2. 論文標題 Development of Philadelphia chromosome-negative acute myeloid leukemia with IDH2 and NPM1 mutations in a patient with chronic myeloid leukemia who showed a major molecular response to tyrosine kinase inhibitor therapy	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 International Journal of Hematology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12185-020-03074-7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sakurai Masatoshi, Nannya Yasuhito, Yamazaki Rie, Yamaguchi Kentaro, Koda Yuya, Abe Ryohei, Yokoyama Kenji, Ogawa Seishi, Mori Takehiko	4. 巻 -
2. 論文標題 Germline RUNX1 translocation in familial platelet disorder with propensity to myeloid malignancies	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Annals of Hematology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00277-021-04430-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kimura Shunsuke, Sekiguchi Masahiro, Watanabe Kentaro, Hiwatarai Mitsuteru, Seki Masafumi, Yoshida Kenichi, Isobe Tomoya, Shiozawa Yusuke, Suzuki Hiromichi, Hoshino Noriko, Hayashi Yasuhide, Oka Akira, Miyano Satoru, Ogawa Seishi, Takita Junko	4. 巻 16
2. 論文標題 Association of high-risk neuroblastoma classification based on expression profiles with differentiation and metabolism	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 PLOS ONE	6. 最初と最後の頁 0245526 ~ 0245526
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0245526	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Li Xiangyu, Kim Woonghee, Arif Muhammad, Gao Chunxia, Hober Andreas, KotoI David, Strandberg Linn?a, Forsstr?m Bj?rn, Sivertsson ?sa, Oksvold Per, Turkez Hasan, Gr?tli Morten, Sato Yusuke, Kume Haruki, Ogawa Seishi, Boren Jan, Nielsen Jens, Uhlen Mathias, Zhang Cheng, Mardinoglu Adil	4. 巻 13
2. 論文標題 Discovery of Functional Alternatively Spliced PKM Transcripts in Human Cancers	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Cancers	6. 最初と最後の頁 348 ~ 348
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/cancers13020348	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Fujishima Naohito, Ogawa Seishi et al.	4. 巻 11
2. 論文標題 Clonal hematopoiesis in adult pure red cell aplasia	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-021-81890-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shimada Kazuyuki, Ogawa Seishi et al.	4. 巻 137
2. 論文標題 Frequent genetic alterations in immune checkpoint?related genes in intravascular large B-cell lymphoma	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Blood	6. 最初と最後の頁 1491 ~ 1502
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/blood.2020007245	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mu Anfeng, Hira Asuka, Niwa Akira, Osawa Mitsujiro, Yoshida Kenichi, Mori Minako, Okamoto Yusuke, Inoue Kazuko, Kondo Keita, Kanemaki Masato T., Matsuda Tomonari, Ito Etsuro, Kojima Seiji, Nakahata Tatsutoshi, Ogawa Seishi, Tanaka Keigo, Matsuo Keitaro, Saito Megumu K., Takata Minoru	4. 巻 137
2. 論文標題 Analysis of disease model iPSCs derived from patients with a novel Fanconi anemia?like IBMFS ADH5/ALDH2 deficiency	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Blood	6. 最初と最後の頁 2021 ~ 2032
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/blood.2020009111	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Boons Eline, Nogueira Tatiane C., Dierckx Tim, Menezes Soraya Maria, Jacquemyn Maarten, Tamir Sharon, Landesman Yosef, Ogawa Seishi., et al.	4. 巻 11
2. 論文標題 XPO1 inhibitors represent a novel therapeutic option in Adult T-cell Leukemia, triggering p53-mediated caspase-dependent apoptosis	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Blood Cancer Journal	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41408-021-00409-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kaburagi Taeko, Ogawa Seishi et al.	4. 巻 -
2. 論文標題 Clinical significance of RAS pathway alterations in pediatric acute myeloid leukemia	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Haematologica	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3324/haematol.2020.269431	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Lundgren Sofie, Kernen Mikko A. I., Kankainen Matti, Huuhtanen Jani, Walldin Gunilla, Kerr Cassandra M., Clemente Michael, Ebeling Freja, Rajala Hanna, Ogawa Seishi., et al.	4. 巻 35
2. 論文標題 Somatic mutations in lymphocytes in patients with immune-mediated aplastic anemia	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Leukemia	6. 最初と最後の頁 1365 ~ 1379
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41375-021-01231-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Okabe Motohito, Morishita Takanobu, Yasuda Takahiko, Sakaguchi Hirotohi, Sanada Masashi, Kataoka Keisuke, Ogawa Seishi, Shiraishi Yuichi, Ichiki Tomoe, Kawaguchi Yuka, Ohbiki Marie, Matsumoto Rena, Osaki Masahide, Goto Tatsunori, Ozawa Yukiyasu, Miyamura Koichi	4. 巻 -
2. 論文標題 Targeted deep next generation sequencing identifies potential somatic and germline variants for predisposition to familial Burkitt lymphoma	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 European Journal of Haematology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ejh.13629	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hosokawa Kohei, Ogawa Seishi et al.	4. 巻 -
2. 論文標題 HLA class I allele-lacking leukocytes predict rare clonal evolution to MDS/AML in patients with acquired aplastic anemia	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Blood	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/blood.2020010586	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yasudo Hiroki, Ogawa Seishi et al.	4. 巻 -
2. 論文標題 A possible association between a novel NLRP1 mutation and an autoinflammatory disease involving liver cirrhosis	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Hepatology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/hep.31818	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tamamitsu Ayaka Monoi, Nakagama Yu, Domoto Yukako, Yoshida Kenichi, Ogawa Seishi, Hirono Keiichi, Shindo Takahiro, Ogawa Yosuke, Nakano Katsutoshi, Asakai Hiroko, Hirata Yoichiro, Matsui Hikoro, Inuzuka Ryo	4. 巻 62
2. 論文標題 Poor Myocardial Compaction in a Patient with Recessive <i>MYL2</i> Myopathy	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 International Heart Journal	6. 最初と最後の頁 445 ~ 447
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1536/ihj.20-639	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kakiuchi Nobuyuki, Ogawa Seishi	4. 巻 21
2. 論文標題 Clonal expansion in non-cancer tissues	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Nature Reviews Cancer	6. 最初と最後の頁 239 ~ 256
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41568-021-00335-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Cao-Sy Luan, Obara Naoshi, Sakamoto Tatsuhiro, Kato Takayasu, Hattori Keiichiro, Sakashita Shingo, Nannya Yasuhito, Ogawa Seishi, Harada Hironori, Sakata-Yanagimoto Mamiko, Nishikii Hidekazu, Chiba Shigeru	4. 巻 109
2. 論文標題 Prominence of nestin-expressing Schwann cells in bone marrow of patients with myelodysplastic syndromes with severe fibrosis	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 International Journal of Hematology	6. 最初と最後の頁 309 ~ 318
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12185-018-02576-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Taguchi Masataka, Ogawa Seishi., et al.	4. 巻 105
2. 論文標題 Genome analysis of myelodysplastic syndromes among atomic bomb survivors in Nagasaki	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Haematologica	6. 最初と最後の頁 358 ~ 365
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3324/haematol.2019.219386	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Gu M, Zwiebel M, Ong SH, Boughton N, Nomdedeu J, Basheer F, Nannya Y, Quiros PM, Ogawa S, Cazzola M, Rad R, Butler AP, Vijayabaskar MS, Vassiliou G.	4. 巻 -
2. 論文標題 RNAmut: robust identification of somatic mutations in acute myeloid leukemia using RNA-seq.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Haematologica.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3324/haematol.2019.230821.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Gu M, Zwiebel M, Ong SH, Boughton N, Nomdedeu J, Basheer F, Nannya Y, Quiros PM, Ogawa S, Cazzola M, Rad R, Butler AP, Vijayabaskar MS, Vassiliou G.	4. 巻 -
2. 論文標題 RNAmut: robust identification of somatic mutations in acute myeloid leukemia using RNA-seq.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Haematologica	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3324/haematol.2019.230821.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Watatani Yosaku, Ogawa Seishi., et al.	4. 巻 33
2. 論文標題 Molecular heterogeneity in peripheral T-cell lymphoma, not otherwise specified revealed by comprehensive genetic profiling	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Leukemia	6. 最初と最後の頁 2867 ~ 2883
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41375-019-0473-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Chonabayashi Kazuhisa, Yoshida Yoshinori, Kitawaki Toshio, Nannya Yasuhito, Nakamura Momoko, Oshima Shinichiro, Hishizawa Masakatsu, Yamashita Kouhei, Ogawa Seishi, Takaori-Kondo Akifumi	4. 巻 98
2. 論文標題 Acute myeloid leukemia with a cryptic NUP98/PRRX2 rearrangement developing after low-dose methotrexate therapy for rheumatoid arthritis	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Annals of Hematology	6. 最初と最後の頁 2841 ~ 2843
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00277-019-03838-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kakiuchi N, Ogawa Seishi., et al.	4. 巻 577(7789)
2. 論文標題 Frequent mutations that converge on the NFKBIZ pathway in ulcerative colitis	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nature	6. 最初と最後の頁 260-265
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41586-019-1856-1.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Fujioka M, Itonaga H, Kato T, Nannya Y, Hashimoto M, Kasai S, Toriyama E, Kamiyo R, Taguchi M, Taniguchi H, Sato S, Atogami S, Imaizumi Y, Hata T, Moriuchi Y, Ogawa S, Miyazaki Y.	4. 巻 111(2)
2. 論文標題 Persistent clonal cytogenetic abnormality with del(20q) from an initial diagnosis of acute promyelocytic leukemia.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Int J Hematol.	6. 最初と最後の頁 311-316
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12185-019-02731-w.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kimura Shunsuke, Ogawa Seishi., et al.	4. 巻 34
2. 論文標題 DNA methylation-based classification reveals difference between pediatric T-cell acute lymphoblastic leukemia and normal thymocytes	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Leukemia	6. 最初と最後の頁 1163 ~ 1168
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41375-019-0626-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kimura S, Ogawa Seishi., et al.	4. 巻 -
2. 論文標題 DNA methylation-based classification reveals difference between pediatric T-cell acute lymphoblastic leukemia and normal thymocytes.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Leukemia.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/bloodadvances.2019001324.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Shrestha R, Sakata-Yanagimoto M, Maie K, Oshima M, Ishihara M, Suehara Y, Fukumoto K, Nakajima-Takagi Y, Matsui H, Kato T, Muto H, Sakamoto T, Kusakabe M, Nannya Y, Makishima H, Ueno H, Saiki R, Ogawa S, Chiba K, Shiraishi Y, Miyano S, Mouly E, Bernard OA, Inaba T, Koseki H, Iwama A, Chiba S.	4. 巻 4(5)
2. 論文標題 . Molecular pathogenesis of progression to myeloid leukemia from TET-insufficient status.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Blood Adv.	6. 最初と最後の頁 845-854
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/bloodadvances.2019001324.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Li X, Turanli B, Juszczak K, Kim W, Arif M, Sato Y, Ogawa S, Turkez H, Nielsen J, Boren J, Uhlen M, Zhang C, Mardinoglu A.	4. 巻 6(2)
2. 論文標題 Classification of clear cell renal cell carcinoma based on PKM alternative splicing.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Heliyon.	6. 最初と最後の頁 e03440
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Mylonas E, Yoshida K, Frick M, Hoyer K, Christen F, Kaeda J, Obenaus M, Noerenberg D, Hennch C, Chan W, Ochi Y, Shiraishi Y, Shiozawa Y, Zenz T, Oakes CC, Sawitzki B, Schwarz M, Bullinger L, le Coutre P, Rose-Zerilli MJJ, Ogawa S, Damm F.	4. 巻 11(1)
2. 論文標題 Single-cell analysis based dissection of clonality in myelofibrosis.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Nat Commun.	6. 最初と最後の頁 73
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-019-13892-x.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Polprasert Chantana, Ogawa Seishi., et al.	4. 巻 111
2. 論文標題 Novel DDX41 variants in Thai patients with myeloid neoplasms	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 International Journal of Hematology	6. 最初と最後の頁 241 ~ 246
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12185-019-02770-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Berger G, Gerritsen M, Yi G, Koorenhof-Scheele TN, Kroeze LI, Stevens-Kroef M, Yoshida K, Shiraishi Y, van den Berg E, Schepers H, Huls G, Mulder AB, Ogawa S, Martens JHA, Jansen JH, Vellenga E.	4. 巻 3(20)
2. 論文標題 Ring sideroblasts in AML are associated with adverse risk characteristics and have a distinct gene expression pattern.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Blood Adv.	6. 最初と最後の頁 3111-3122.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/bloodadvances.2019000518.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Shiba Norio, Ogawa Seishi., et al.	4. 巻 3
2. 論文標題 Transcriptome analysis offers a comprehensive illustration of the genetic background of pediatric acute myeloid leukemia	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Blood Advances	6. 最初と最後の頁 3157 ~ 3169
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/bloodadvances.2019000404	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ochi Yotaro, Ogawa Seishi., et al.	4. 巻 10
2. 論文標題 Combined Cohesin?RUNX1 Deficiency Synergistically Perturbs Chromatin Looping and Causes Myelodysplastic Syndromes	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cancer Discovery	6. 最初と最後の頁 836 ~ 853
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/2159-8290.CD-19-0982	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 OGAWA Seishi	4. 巻 96
2. 論文標題 Genetic basis of myelodysplastic syndromes	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Proceedings of the Japan Academy, Series B	6. 最初と最後の頁 107 ~ 121
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2183/pjab.96.009	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Taguchi Masataka, Ogawa Seishi., et al.	4. 巻 105
2. 論文標題 Genome analysis of myelodysplastic syndromes among atomic bomb survivors in Nagasaki	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Haematologica	6. 最初と最後の頁 358 ~ 365
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3324/haematol.2019.219386	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Polprasert Chantana, Ogawa Seishi., et al.	4. 巻 111
2. 論文標題 Novel DDX41 variants in Thai patients with myeloid neoplasms	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 International Journal of Hematology	6. 最初と最後の頁 241 ~ 246
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12185-019-02770-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Madan V, Li J, Zhou S, Teoh WW, Han L, Meggendorfer M, Malcovati L, Cazzola M, Ogawa S, Haferlach T, Yang H, Koeffler HP.	4. 巻 95(2)
2. 論文標題 Distinct and convergent consequences of splice factor mutations in myelodysplastic syndromes.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Am J Hematol.	6. 最初と最後の頁 133-143
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/ajh.25673. Epub 2019 Nov 18	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Donovan Frank X., Ogawa Seishi., et al.		4. 巻 41
2. 論文標題 A founder variant in the South Asian population leads to a high prevalence of Fanconi anemia cases in India	FANCL	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Human Mutation		6. 最初と最後の頁 122 ~ 128
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/humu.23914		査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)		国際共著 該当する

1. 著者名 Donovan Frank X., Ogawa Seishi., et al.		4. 巻 41
2. 論文標題 A founder variant in the South Asian population leads to a high prevalence of Fanconi anemia cases in India	FANCL	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Human Mutation		6. 最初と最後の頁 122 ~ 128
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/humu.23914		査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)		国際共著 該当する

1. 著者名 Takashima Yasuo, Kawaguchi Atsushi, Sato Ryuichi, Yoshida Kenichi, Hayano Azusa, Homma Jumpei, Fukai Junya, Iwadate Yasuo, Kajiwara Koji, Ishizawa Shin, Hondoh Hiroaki, Nakano Masakazu, Ogawa Seishi, Tashiro Kei, Yamanaka Ryuya		4. 巻 9
2. 論文標題 Differential expression of individual transcript variants of PD-1 and PD-L2 genes on Th-1/Th-2 status is guaranteed for prognosis prediction in PCNSL		5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Scientific Reports		6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-46473-5		査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)		国際共著 -

1. 著者名 Polprasert Chantana, Ogawa Seishi., et al.		4. 巻 3
2. 論文標題 Frequent germline mutations of HAVCR2 in sporadic subcutaneous panniculitis-like T-cell lymphoma		5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Blood Advances		6. 最初と最後の頁 588 ~ 595
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/bloodadvances.2018028340		査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)		国際共著 該当する

1. 著者名 Ono Sahoko, Ogawa Seishi., et al.	4. 巻 6
2. 論文標題 Novel neuroblastoma amplified sequence (NBAS) mutations in a Japanese boy with fever-triggered recurrent acute liver failure	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Human Genome Variation	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41439-018-0035-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Okuno Yusuke, Ogawa Seishi., et al.	4. 巻 4
2. 論文標題 Defective Epstein-Barr virus in chronic active infection and haematological malignancy	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nature Microbiology	6. 最初と最後の頁 404 ~ 413
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41564-018-0334-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Okano Tsubasa, Ogawa Seishi., et al.	4. 巻 143
2. 論文標題 Hematopoietic stem cell transplantation for progressive combined immunodeficiency and lymphoproliferation in patients with activated phosphatidylinositol-3-OH kinase syndrome type 1	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Allergy and Clinical Immunology	6. 最初と最後の頁 266 ~ 275
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jaci.2018.04.032	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Nagata Yasunobu, Ogawa Seishi., et al.	4. 巻 10
2. 論文標題 Invariant patterns of clonal succession determine specific clinical features of myelodysplastic syndromes	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-019-13001-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Nagao Yuhei, Ogawa Seishi., et al.	4. 巻 33
2. 論文標題 Genetic and transcriptional landscape of plasma cells in POEMS syndrome	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Leukemia	6. 最初と最後の頁 1723 ~ 1735
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41375-018-0348-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mori Minako, Ogawa Seishi., et al.	4. 巻 104
2. 論文標題 Pathogenic mutations identified by a multimodality approach in 117 Japanese Fanconi anemia patients	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Haematologica	6. 最初と最後の頁 1962 ~ 1973
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3324/haematol.2018.207241	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Masaki So, Ikeda Shun, Hata Asuka, Shiozawa Yusuke, Kon Ayana, Ogawa Seishi, Suzuki Kenji, Hakuno Fumihiko, Takahashi Shin-Ichiro, Kataoka Naoyuki	4. 巻 10
2. 論文標題 Myelodysplastic Syndrome-Associated SRSF2 Mutations Cause Splicing Changes by Altering Binding Motif Sequences	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Frontiers in Genetics	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fgene.2019.00338	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Labuhn Maurice, Ogawa Seishi., et al.	4. 巻 36
2. 論文標題 Mechanisms of Progression of Myeloid Preleukemia to Transformed Myeloid Leukemia in Children with Down Syndrome	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Cancer Cell	6. 最初と最後の頁 123 ~ 138.e10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ccell.2019.06.007	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kubota Yasuo, Ogawa Seishi., et al.	4. 巻 110
2. 論文標題 Integrated genetic and epigenetic analysis revealed heterogeneity of acute lymphoblastic leukemia in Down syndrome	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Cancer Science	6. 最初と最後の頁 3358 ~ 3367
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.14160	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kohara Hiroshi, Ogawa Seishi., et al.	4. 巻 73
2. 論文標題 KLF1 mutation E325K induces cell cycle arrest in erythroid cells differentiated from congenital dyserythropoietic anemia patient-specific induced pluripotent stem cells	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Experimental Hematology	6. 最初と最後の頁 25 ~ 37.e8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.exphem.2019.03.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kimura Shunsuke, Seki Masafumi, Yoshida Kenichi, Shiraishi Yuichi, Akiyama Masaharu, Koh Katsuyoshi, Imamura Toshihiko, Manabe Atsushi, Hayashi Yasuhide, Kobayashi Masao, Oka Akira, Miyano Satoru, Ogawa Seishi, Takita Junko	4. 巻 110
2. 論文標題 NOTCH 1 pathway activating mutations and clonal evolution in pediatric T cell acute lymphoblastic leukemia	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Cancer Science	6. 最初と最後の頁 784 ~ 794
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.13859	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kimura Shunsuke, Hasegawa Daisuke, Yoshimoto Yuri, Seki Masafumi, Daida Atsuro, Sekiguchi Masahiro, Hirabayashi Shinsuke, Hosoya Yosuke, Kobayashi Masao, Miyano Satoru, Ogawa Seishi, Takita Junko, Manabe Atsushi	4. 巻 -
2. 論文標題 Duplication of ALK F1245 missense mutation due to acquired uniparental disomy associated with aggressive progression in a patient with relapsed neuroblastoma	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Oncology Letters	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3892/ol.2019.9985	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kim Soo Ki, Takeda Haruhiko, Takai Atsushi, Matsumoto Tomonori, Kakiuchi Nobuyuki, Yokoyama Akira, Yoshida Kenichi, Kaido Toshimi, Uemoto Shinji, Minamiguchi Sachiko, Haga Hironori, Shiraishi Yuichi, Miyano Satoru, Seno Hiroshi, Ogawa Seishi, Marusawa Hiroyuki	4. 巻 54
2. 論文標題 Comprehensive analysis of genetic aberrations linked to tumorigenesis in regenerative nodules of liver cirrhosis	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Gastroenterology	6. 最初と最後の頁 628 ~ 640
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00535-019-01555-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kataoka Keisuke, Ogawa Seishi., et al.	4. 巻 33
2. 論文標題 Frequent structural variations involving programmed death ligands in Epstein-Barr virus-associated lymphomas	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Leukemia	6. 最初と最後の頁 1687 ~ 1699
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41375-019-0380-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hoshino Akihiro, Yang Xi, Tanita Kay, Yoshida Kenichi, Ono Toshiaki, Nishida Naonori, Okuno Yusuke, Kanzaki Takeyuki, Goi Kumiko, Fujino Hisanori, Ohshima Koichi, Shiraishi Yuichi, Chiba Kenichi, Tanaka Hiroko, Miyano Satoru, Ogawa Seishi, Kojima Seiji, Morio Tomohiro, Kanegane Hirokazu	4. 巻 143
2. 論文標題 Modification of cellular and humoral immunity by somatically reverted T cells in X-linked lymphoproliferative syndrome type 1	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Allergy and Clinical Immunology	6. 最初と最後の頁 421 ~ 424.e11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jaci.2018.07.044	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Haase Detlef, Ogawa Seishi., et al.	4. 巻 33
2. 論文標題 TP53 mutation status divides myelodysplastic syndromes with complex karyotypes into distinct prognostic subgroups	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Leukemia	6. 最初と最後の頁 1747 ~ 1758
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41375-018-0351-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Frick Mareike, Ogawa Seishi., et al.	4. 巻 37
2. 論文標題 Role of Donor Clonal Hematopoiesis in Allogeneic Hematopoietic Stem-Cell Transplantation	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Clinical Oncology	6. 最初と最後の頁 375 ~ 385
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1200/JCO.2018.79.2184	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Elbadry Mahmoud I., Mizumaki Hiroki, Hosokawa Kohei, Espinoza J. Luis, Nakagawa Noriharu, Chonabayashi Kazuhisa, Yoshida Yoshinori, Katagiri Takamasa, Hosomichi Kazuyoshi, Zaimoku Yoshitaka, Imi Tatsuya, Nguyen Mai Anh Thi, Fujii Youichi, Tajima Atsushi, Ogawa Seishi, Takenaka Katsuto, Akashi Koichi, Nakao Shinji	4. 巻 104
2. 論文標題 Escape hematopoiesis by HLA-B5401-lacking hematopoietic stem progenitor cells in men with acquired aplastic anemia	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Haematologica	6. 最初と最後の頁 e447 ~ e450
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3324/haematol.2018.210856	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Chung Elaine Y., Mai Yun, Shah Urvi A., Wei Yongqiang, Ishida Elise, Kataoka Keisuke, Ren Xiaoxin, Pradhan Kith, Bartholdy Boris, Wei Xiaolei, Zou Yiyu, Zhang Jinghang, Ogawa Seishi, Steidl Ulrich, Zang Xingxing, Verma Amit, Janakiram Murali, Ye B. Hilda	4. 巻 25
2. 論文標題 PAK Kinase Inhibition Has Therapeutic Activity in Novel Preclinical Models of Adult T-Cell Leukemia/Lymphoma	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Clinical Cancer Research	6. 最初と最後の頁 3589 ~ 3601
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/1078-0432.CCR-18-3033	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Christen Friederike, Ogawa Seishi., et al.	4. 巻 133
2. 論文標題 Genomic landscape and clonal evolution of acute myeloid leukemia with t(8;21): an international study on 331 patients	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Blood	6. 最初と最後の頁 1140 ~ 1151
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/blood-2018-05-852822	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Becker Heiko, Greve Gabriele, Kataoka Keisuke, Mallm Jan-Philipp, Ogawa Seishi, et al.	4. 巻 3
2. 論文標題 Identification of enhancer of mRNA decapping 4 as a novel fusion partner of MLL in acute myeloid leukemia	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Blood Advances	6. 最初と最後の頁 761 ~ 765
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/bloodadvances.2018023879	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ahn Jae-Sook, Kim TaeHyung, Kim Yeo-Kyeoung, Cho Young-Chang, Cho SaYeon, Jung Sung-Hoon, Ahn Seo-Yeon, Jung Seung-Yeon, Yang Deok-Hwan, Lee Je-Jung, Choi Seunghyun, Lee Ja-Yeon, Shin Myung-Geun, Yoshida Kenichi, Ogawa Seishi, Kim Il-Chul, Zhang Zhaolei, Kim Hyeoung-Joon, Kim Dennis Dong Hwan	4. 巻 75
2. 論文標題 Remission clone in acute myeloid leukemia shows growth advantage after chemotherapy but is distinct from leukemic clone	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Experimental Hematology	6. 最初と最後の頁 26 ~ 30
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.exphem.2019.06.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Secardin Lise, Limia Cintia Elisabeth Gomez, di Stefano Antonio, Bonamino Martin Hernan, Saliba Joseph, Kataoka Keisuke, Rehen Stevens K., Raslova Hana, Marty Caroline, Ogawa Seishi, Vainchenker William, Monte-Mor Barbara da Costa Reis, Plo Isabelle	4. 巻 44
2. 論文標題 TET2 haploinsufficiency alters reprogramming into induced pluripotent stem cells	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Stem Cell Research	6. 最初と最後の頁 101755 ~ 101755
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.scr.2020.101755	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Nguyen Tran B., Ogawa Seishi., et al.	4. 巻 80
2. 論文標題 Dasatinib Is an Effective Treatment for Angioimmunoblastic T-cell Lymphoma	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cancer Research	6. 最初と最後の頁 1875 ~ 1884
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/0008-5472.CAN-19-2787	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 柴田 翔、小川 誠司、有馬 靖佳、北野 俊行、岡本 吉央、瀧内 曜子、山本 和代、田端 淑恵、饗庭 明子、吉田 裕治、南谷 泰仁	4. 巻 60
2. 論文標題 網羅的遺伝子検査によって診断が確定した本態性血小板血症	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 臨床血液	6. 最初と最後の頁 1630 ~ 1634
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11406/rinketsu.60.1630	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Katagiri Seiichiro, Makishima Hideki, Azuma Kenko, Nannya Yasuhito, Saitoh Yuu, Yoshizawa Seiichiro, Akahane Daigo, Fujimoto Hiroaki, Ito Yoshikazu, Velaga Ravi, Umezu Tomohiro, Ohyashiki Junko H., Ogawa Seishi, Ohyashiki Kazuma	4. 巻 -
2. 論文標題 Predisposed genomic instability in pre-treatment bone marrow evolves to therapy-related myeloid neoplasms in malignant lymphoma	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Haematologica	6. 最初と最後の頁 229856
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3324/haematol.2019.229856	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 安達 正晃、吉田 健一、白石 友一、千葉 健一、宮野 悟、小川 誠司	4. 巻 60
2. 論文標題 赤芽球癆に対しシクロスポリンが奏効したSTAT3遺伝子D661V変異を有するT細胞大顆粒リンパ球性白血病	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 臨床血液	6. 最初と最後の頁 39 ~ 45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11406/rinketsu.60.39	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ogawa Seishi	4. 巻 133
2. 論文標題 Genetics of MDS	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Blood	6. 最初と最後の頁 1049 ~ 1059
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/blood-2018-10-844621	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

[学会発表] 計202件(うち招待講演 42件/うち国際学会 87件)

1. 発表者名 Tomonori Hirano, Nobuyuki Kakiuchi, Yasuhide Takeuchi, Tomomi Nishimura, Toshihiko Masui, Kazuyuki Nagai, Takayuki Anazawa, Sachiko Minamiguchi, Hironori Haga, Norimitsu Uza, Hiroshi Seno, Yuzo Kodama, Atsuhiko Masuda, Takeshi Tanaka, Seishi Ogawa*
2. 発表標題 Origin of synchronous or metachronous multiple pancreatic cancers.
3. 学会等名 AACR Annual Meeting 2023 (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Masahiro M Nakagawa, Ryosaku Inagaki, Yutaka Kuroda, Yasuhito Nannya, Lanying Zhao, Yotaro Ochi, Masanori Motomura, June Takeda, Xingxing Qi, Koji Okazaki, Akinori Yoda, Ayana Kon, Nobuyuki Kakiuchi, Hideki Makishima, Shuichi Matsuda and Seishi Ogawa*
2. 発表標題 DISTINCT PATHOGENESIS OF CLONAL HEMATOPOIESIS REVEALED BY SINGLE-CELL MULTI-OMICS SEQUENCING
3. 学会等名 MDS Symposium (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 家人康輔、垣内伸之、平野智紀、渡部光一、田中洋子、宮野 悟、松元 崇、高松 大、門司恵介、塩田真己、猪口淳一、牧島秀樹、江藤正俊、小川誠司
2. 発表標題 末期腎不全における遺伝子解析
3. 学会等名 82回日本癌学会学術総会 (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Rurika Okuda, Yotaro Ochi, Ryunosuke Saiki, Nobuhiro Hiramoto, Hideki Makishima, Yasuhito Nannya, Seishi Ogawa, et al.*
2. 発表標題 Clonal Evolution of Der(1;7)(q10;p10) Myeloid Neoplasms
3. 学会等名 65th ASH Annual Meeting & Exposition (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Yotaro Ochi, Yasuhito Nannya, Seishi Ogawa, et al.
2. 発表標題 Epigenetic classification of acute myeloid leukemia revealed by genome-wide chromatin profiling
3. 学会等名 65th ASH Annual Meeting & Exposition (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Ayana Kon, Masahiro M Nakagawa, Keisuke Kataoka, Nobuyuki Kakiuchi, Hideki Makishima, Manabu Nakayama, Haruhiko Koseki, Yasuhito Nannya, Seishi Ogawa*
2. 発表標題 Pathogenic Mechanisms of DDX41 Mutations in the Development of Myeloid Malignancies.
3. 学会等名 65th ASH Annual Meeting & Exposition (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Tomomi Nishimura, Seishi Ogawa, et. al
2. 発表標題 Clonal evolution of mammary epithelial cells into breast cancers
3. 学会等名 2022 San Antonio Breast Cancer Symposium (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Ayana Kon, Masahiro M Nakagawa, Keisuke Kataoka, Nobuyuki Kakiuchi, Yotaro Ochi, Hideki Makishima, Manabu Nakayama, Haruhiko Koseki, Yasuhito Nannya, Seishi Ogawa
2. 発表標題 Functional roles of DDX41 mutations in the development of myeloid malignancies
3. 学会等名 27th Congress of EHA (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Akinori Yoda, Daisuke Morishita, Yotaro Ochi, Akio Mizutani, June Takeda, Hirokazu Tozaki, Yoshihiko Satoh, Yasuhito Nannya, Hideki Makishima, Hiroshi Miyake, Seishi Ogawa
2. 発表標題 CTX-712, a novel splicing modulator targeting myeloid neoplasms
3. 学会等名 64th ASH Annual Meeting and Exposition (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Rurika Okuda, Seishi Ogawa, et. al
2. 発表標題 Molecular landscape of myeloid neoplasms with der(1;7)(q10;p10)
3. 学会等名 64th ASH Annual Meeting and Exposition (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Masahiro M Nakagawa, Ryosaku Inagaki, Yutaka Kuroda, Yasuhito Nannya, Lanying Zhao, Yotaro Ochi, June Takeda, Xingxing Qi, Akinori Yoda, Ayana Kon, Nobuyuki Kakiuchi, Hideki Makishima, Shuichi Matsuda and Seishi Ogawa
2. 発表標題 Distinct pathogenesis of clonal hematopoiesis revealed by single cell RNA sequencing integrated with highly sensitive genotyping method.
3. 学会等名 64th ASH Annual Meeting and Exposition (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Hideki Makishima, Seishi Ogawa, et. al
2. 発表標題 Clinical Impacts of Germline DDX41 Mutations on Myeloid Neoplasms.
3. 学会等名 64th ASH Annual Meeting and Exposition (国際学会)
4. 発表年 2022年

1 . 発表者名 Xingxing Qi, Seishi Ogawa, et. al
2 . 発表標題 Mis-splicing due to somatic U2AF2 mutations in myeloid neoplasms
3 . 学会等名 64th ASH Annual Meeting and Exposition ( 国際学会 )
4 . 発表年 2022年

1 . 発表者名 Takuto Mori, Seishi Ogawa, et. al
2 . 発表標題 Cooperative effects of SRSF2 and STAG2 mutations on development of myelodysplastic syndrome and its related disorders.
3 . 学会等名 64th ASH Annual Meeting and Exposition ( 国際学会 )
4 . 発表年 2022年

1 . 発表者名 Ryunosuke Saiki, Seishi Ogawa, et. al
2 . 発表標題 Detailed analysis of the impact of clonal hematopoiesis on the risk of severe COVID-19 infection
3 . 学会等名 64th ASH Annual Meeting and Exposition
4 . 発表年 2022年

1 . 発表者名 Akinori Yoda, Daisuke Morishita, Yotaro Ochi, Akio Mizutani, June Takeda, Hirokazu Tozaki, Yoshihiko Satoh, Yasuhiro Nannya, Hideki Makishima, Hiroshi Miyake, Seishi Ogawa
2 . 発表標題 CTX-712, a novel splicing modulator targeting myeloid neoplasms
3 . 学会等名 American Association for Cancer Research Annual Meeting 2022 ( 国際学会 )
4 . 発表年 2022年

1. 発表者名 Tomomi Nishimura, Seishi Ogawa, et. al
2. 発表標題 Clonal evolution of mammary epithelial cells into breast cancers
3. 学会等名 American Association for Cancer Research Annual Meeting 2022 (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 June Takeda, Seishi Ogawa, et. al
2. 発表標題 Amplified EPOR/JAK2 genes define a unique subtype of acute erythroid leukemia
3. 学会等名 American Association for Cancer Research Annual Meeting 2022 (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Tomonori Hirano, Nobuyuki Kakiuchi, Yasuhide Takeuchi, Tomomi Nishimura, Toshihiko Masui, Sachiko Minamiguchi, Hironori Haga,
2. 発表標題 Genetic analysis of metachronous pancreatic cancers
3. 学会等名 American Association for Cancer Research Annual Meeting 2022 (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Rurika Okuda, Seishi Ogawa, et. al
2. 発表標題 Unbalanced translocation der(1;7)(q10;p10) as a distinct sub-type in myelodysplastic syndromes
3. 学会等名 EHA 2022 (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Yotaro Ochi
2. 発表標題 Clonal evolution and clinical implications of genetic abnormalities in blastic transformation of chronic myeloid leukemia
3. 学会等名 Japan Adult Leukemia Study Group 35th Anniversary International Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 June Takeda, Seishi Ogawa, et. al
2. 発表標題 Amplified EPOR/JAK2 genes define a unique subtype of acute erythroid leukemia
3. 学会等名 The 27th Congress of the European Hematology Association (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Yotaro Ochi, Hiroshi I Suzuki, Seishi Ogawa
2. 発表標題 Molecular mechanism of leukemogenesis caused by cohesin mutations
3. 学会等名 The 81st Annual Meeting of JCA (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Hirona Maeda, Nobuyuki Kakiuchi, Takashi Ito, Eri Ogawa, Masahiro Shiokawa, Norimitsu Uza, Yoko Tanaka, Yasuhito Nanya, Hideki Makishima, Hiroaki Yasuda, Yuzo Kodama, Shinji Uemoto, Satoru Miyano, Seishi Ogawa
2. 発表標題 Clonal expansion in bile duct associated with chronic inflammation
3. 学会等名 The 81st Annual Meeting of JCA
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Ryunosuke Saiki, Seishi Ogawa, et. al
2. 発表標題 Integrated analysis of gene mutations and copy- number alterations in clonal hematopoiesis
3. 学会等名 The 81st Annual Meeting of JCA
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Ryunosuke Saiki, Seishi Ogawa, et. al
2. 発表標題 The landscape of genetic alterations in clonal hematopoiesis and impacts on clinical outcomes
3. 学会等名 The 81st Annual Meeting of JCA
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 平野 智紀、増井 俊彦、小川 誠司
2. 発表標題 異時性・同時性多発膵癌の遺伝子解析
3. 学会等名 日本消化器病学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 平野智紀、垣内伸之、瀧本郁久、筑後孝紀、中西梨沙、安田宗司、横出正隆、松本慎平、村本雄哉、太田彩貴子、中村武晴、岡田浩和、曾我部裕子、美馬淳志、上田樹、栗田威、西川義浩、丸野貴久、松森友昭、塩川雅広、宇座徳光、妹尾浩
2. 発表標題 異時性・同時性多発膵癌の遺伝子解析
3. 学会等名 若手膵臓研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 西村 友美, 垣内 伸之, 吉田 健一, 竹内 康英, 前田 紘奈, 南谷 泰仁, 塩澤 裕介, 中川 正宏, 越智 陽太郎, 佐伯 龍之介, 片岡 竜貴, 桜井 孝規, 馬場 郷子, 白石 友一, 千葉 健一, 竹内 賢吾, 羽賀 博典, 宮野 悟, 戸井 雅和, 小川 誠司
2. 発表標題 正常乳管上皮細胞から乳癌に至るクローン進化
3. 学会等名 第30回日本乳癌学会学術総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Ayana Kon, Masahiro M Nakagawa, Keisuke Kataoka, Hideki Makishima, Manabu Nakayama, Haruhiko Koseki, Yasuhito Nannya, Seishi Ogawa
2. 発表標題 Elucidating the mechanism of clonal evolution of DDX41 mutated cells in myeloid malignancies
3. 学会等名 第81回日本癌学会学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Akinori Yoda, Daisuke Morishita, Yotaro Ochi, Akio Mizutani, June Takeda, Hirokazu Tozaki, Yoshihiko Satoh, Yasuhito Nannya, Hideki Makishima, Hiroshi Miyake, Seishi Ogawa
2. 発表標題 CTX-712, a novel splicing modulator targeting myeloid neoplasms
3. 学会等名 第81回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Rurika Okuda, Yotaro Ochi, Kazuhisa Chonabayashi, Masashi Sanada, Hiroshi Handa, Yuichi Shiraishi, Shigeru Chiba, Takayuki Ishikawa, Kazuma Ohyashiki, Yoshiko Atsuta, Satoru Miyano, Hideki Makishima, Yasuhito Nannya, Seishi Ogawa
2. 発表標題 不均衡転座der(1;7)(q10;p10)を有するMDSと関連疾患の特徴
3. 学会等名 第81回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Tomomi Nishimura, Nobuyuki Kakiuchi, Kenichi Yoshida, Takaki Sakurai, Tatsuki R. Kataoka, Morio Sawada, Yasuhide Takeuchi, Hirona Maeda, Satoko Baba, Junko Takita, Satoru Miyano, Masaki Mandai, Kengo Takeuchi, Hironori Haga, Masakazu Toi, and Seishi Ogawa
2. 発表標題 Clonal evolution of mammary epithelial cells into breast cancers
3. 学会等名 第81回日本癌学会学術総会 (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Koichi Watanabe, Nobuyuki Kakiuchi, Shiro Takamatsu, Sachiko Kitamura, Mana Taki, Koji Yamanoi, Ryusuke Murakami, Ken Yamaguchi, Junzo Hamanishi, Hiroko Tanaka, Satoru Miyano, Masaki Mandai, Seishi Ogawa
2. 発表標題 Clonal expansion with driver mutations in human normal endometrium
3. 学会等名 第81回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Xingxing Qi, Seishi Ogawa, et. al
2. 発表標題 Mis-splicing due to somatic U2AF2 mutations in myeloid neoplasms
3. 学会等名 第81回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Takuto Mori, Seishi Ogawa, et. al
2. 発表標題 Cooperative effects of SRSF2 and STAG2 mutations on development of myelodysplastic syndrome and its related disorders.
3. 学会等名 第81回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Kosuke Ieiri, Nobuyuki Kakiuchi, Yoichi Fujii, Tomonori Hirano, Tomomi Nishimura, Hirona Maeda, Tatsuki Ogasawara, Yoshihiro Ishida, Yoshikage Inoue, Satoru Miyano, Masaki Shiota, Junichi Inokuchi, Hideki Makishima, Masatoshi Eto and Seishi Ogawa
2. 発表標題 Genomic analysis of normal kidney
3. 学会等名 第81回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Tomonori Hirano, Nobuyuki Kakiuchi, Yasuhide Takeuchi, Toshihiko Masu, Yuichi Shiraishi, Satoru Miyano, Norimitsu Uza, Yuzo Kodama, Atshiro Masuda, Takeshi Tanaka, Hiroshi Seno, and Seishi Ogawa
2. 発表標題 Genetic analysis of synchronous and/or metachronous multiple pancreatic cancers
3. 学会等名 第81回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Akinori Yoda, Daisuke Morishita, Yotaro Ochi, Akio Mizutani, June Takeda, Hirokazu Tozaki, Yoshihiko Satoh, Yasuhiro Nannya, Hideki Makishima, Hiroshi Miyake, Seishi Ogawa
2. 発表標題 CTX-712, a novel splicing modulator targeting myeloid neoplasms
3. 学会等名 第84回日本血液学会学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Rurika Okuda, Seishi Ogawa, et. al
2. 発表標題 der(1;7)(q10;p10) as a distinct subtype in myelodysplastic syndromes
3. 学会等名 第84回日本血液学会学術集会
4. 発表年 2022年

1 . 発表者名 Takuto Mori, Seishi Ogawa, et. al
2 . 発表標題 Cooperative effects of SRSF2 and STAG2 mutations on development of myelodysplastic syndrome and its related disorders.
3 . 学会等名 第84回日本血液学会学術集会
4 . 発表年 2022年

1 . 発表者名 Ayana Kon, Masahiro M Nakagawa, Keisuke Kataoka, Hideki Makishima, Manabu Nakayama, Haruhiko Koseki, Yasuhito Nannya, Seishi Ogawa
2 . 発表標題 Elucidating the mechanism of clonal evolution of DDX41 mutated cells in myeloid malignancies
3 . 学会等名 第84回日本血液学会学術集会
4 . 発表年 2022年

1 . 発表者名 Masahiro M Nakagawa, Ryosaku Inagaki, Yutaka Kuroda, Yasuhito Nannya, Ryunosuke Saiki, Yotaro Ochi, June Takeda, Zhao Lanying, Xingxing Qi, Akinori Yoda, Ayana Kon, Nobuyuki Kakiuchi, Hideki Makishima, Shuichi Matsuda and Seishi Ogawa
2 . 発表標題 Distinct pathogenesis of clonal hematopoiesis revealed by single-cell multi-omics sequencing.
3 . 学会等名 第84回日本血液学会学術集会
4 . 発表年 2022年

1 . 発表者名 Masahiro M Nakagawa, Ryosaku Inagaki, Yasuhito Nannya, Ryunosuke Saiki, Yotaro Ochi, June Takeda, Zhao Lanying, Xingxing Qi, Akinori Yoda, Ayana Kon, Nobuyuki Kakiuchi, Hideki Makishima, Shuichi Matsuda and Seishi Ogawa
2 . 発表標題 Distinct pathogenesis of clonal hematopoiesis revealed by single-cell multi-omics sequencing.
3 . 学会等名 第81回日本癌学会学術総会
4 . 発表年 2022年

1. 発表者名 Hideki Makishima, Seishi Ogawa, et. al
2. 発表標題 Germline DDX41 mutations define a unique subtype of myeloid neoplasms.
3. 学会等名 第81回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Hideki Makishima, Seishi Ogawa, et. al
2. 発表標題 Germline DDX41 mutations define a unique subtype of myeloid neoplasms.
3. 学会等名 第84回日本血液学会学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Ryunosuke Saiki, Seishi Ogawa, et. al
2. 発表標題 The impact of clonal hematopoiesis on the risk of severe COVID-19 infection
3. 学会等名 第84回日本血液学会学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Yoshikage Inoue, Nobuyuki Kakiuchi, Kenichi Yoshida, Yasuhito Nanya, Yusuke Shiozawa, Yasuhide Takeuchi, Yoichi Fujii, Yuichi Shiraishi, Kenichi Chiba, Tetsuichi Yoshizato, Youko Tanaka, Satoshi Nagayama, Kazutaka Obama, Satoru Miyano and Seishi Ogawa
2. 発表標題 Molecular classification and risk stratification of colorectal cancer
3. 学会等名 The 81st Annual Meeting of JCA
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Yoshikage Inoue, Nobuyuki Kakiuchi, Kenichi Yoshida, Yasuhito Nanya, Yusuke Shiozawa, Yasuhide Takeuchi, Yoichi Fujii, Yuichi Shiraishi, Kenichi Chiba, Tetsuichi Yoshizato, Youko Tanaka, Satoshi Nagayama, Kazutaka Obama, Satoru Miyano and Seishi Ogawa
2. 発表標題 Molecular classification and risk stratification of colorectal cancer
3. 学会等名 American Association for Cancer Research Annual Meeting 2022 (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Seishi Ogawa
2. 発表標題 Clonal evolution in normal tissues
3. 学会等名 AOS 2022 (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Seishi Ogawa
2. 発表標題 遺伝子変異とゲノムコピー数以上からみた日本人集団におけるクローン性造血
3. 学会等名 第5回日本腫瘍循環器学会 (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Seishi Ogawa
2. 発表標題 先端ゲノム技術によるリンパ腫の病態解明
3. 学会等名 第84回日本血液学会学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2022年

1 . 発表者名 Seishi Ogawa
2 . 発表標題 Understanding of life history of cancer and early diagnosis/prevention of cancer
3 . 学会等名 The 81st Annual Meeting of JCA (招待講演)
4 . 発表年 2022年

1 . 発表者名 Tomomi Nishimura, Seishi Ogawa, et al.
2 . 発表標題 Clonal evolution of proliferative lesions into breast cancers
3 . 学会等名 American Association for Cancer Research Annual Meeting 2021 (国際学会)
4 . 発表年 2021年

1 . 発表者名 Yoshikage Inoue, Nobuyuki Kakiuchi, Kenichi Yoshida, Yasuhito Nanya, Yusuke Shiozawa, Yasuhide Takeuchi, Yoichi Fujii, Yuichi Shiraishi, Kenichi Chiba, Tetsuichi Yoshizato, Satoshi Nagayama, Yoshiharu Sakai, Seishi Ogawa
2 . 発表標題 Molecular classification and risk stratification of colorectal cancer
3 . 学会等名 American Association for Cancer Research Annual Meeting 2021 (国際学会)
4 . 発表年 2021年

1 . 発表者名 Yoshihiro Ishida; Nobuyuki Kakiuchi; Yoichi Fujii; Tomonori Hirano; Yoshikage Inoue; Tomomi Nishimura; Tatsuki Ogasawara; Hirona Maeda; Yuichi Shiraishi; Kenichi Chiba; Hiroko Tanaka; Satoru Miyano; Atsushi Otsuka; Kenji Kabashima; Seishi Ogawa
2 . 発表標題 Clonal expansion of skin keratinocyte
3 . 学会等名 American Association for Cancer Research Annual Meeting 2021 (国際学会)
4 . 発表年 2021年

1. 発表者名 Seishi Ogawa
2. 発表標題 Clonal evolution and chronic inflammation
3. 学会等名 AACR Annual Meeting 2021 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 西村 友美、垣内 伸之、吉田 健一、竹内 康英、前田 紘奈、塩澤 裕介、中川 正宏、越智 陽太郎、佐伯 龍之介、川田 有希子、片岡 竜貴、桜井 孝規、馬場 郷子、白石 友一、千葉 健一、竹内 賢吾、羽賀 博典、宮野 悟、戸井 雅和、小川 誠司
2. 発表標題 乳管上皮増殖性病変から乳癌へ至るクローン進化
3. 学会等名 第29回 日本乳癌学会学術総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 藤井陽一、佐藤悠佑、垣内伸之、白石友一、西松寛明、岡根谷利一、牧島秀樹、川合剛人、中川徹、宮野悟、小川誠司、久米春喜
2. 発表標題 尿路上皮癌における尿中ゲノムバイオマーカーの臨床応用の可能性、
3. 学会等名 第86回日本泌尿器科学会東部総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Seishi Ogawa
2. 発表標題 Clonal expansion in apparently normal tissues
3. 学会等名 2021 JCA-AACR 2021 Precision Cancer Medicine International Conference (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Yotaro Ochi, Seishi Ogawa, et al.
2. 発表標題 Clonal evolution and clinical impact of genetic lesions in blast crisis of chronic myeloid leukemia
3. 学会等名 The 83th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Ayana Kon, Masahiro M Nakagawa, Keisuke Kataoka, Ryosaku Inagaki, Hideki Makishima, Manabu Nakayama, Haruhiko Koseki, Yasuhito Nannya, Seishi Ogawa
2. 発表標題 The molecular pathogenesis of DDX41-mutated myeloid neoplasms
3. 学会等名 The 83th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Nannya Yasuhito, Seishi Ogawa, et al.
2. 発表標題 Post- azacitidine clone size predicts long-term clinical outcome of patients with myelodysplastic syndromes and acute myeloid leukemia
3. 学会等名 The 83th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Yasuhito Nannya
2. 発表標題 造血器腫瘍臨床におけるパネル検査の活用 ~生殖細胞系列変異~
3. 学会等名 The 83th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Masahiro M Nakagawa <sup>12</sup> , Ryosaku Inagaki <sup>123</sup> , Yasuhito Nannya <sup>1</sup> , Zhao Lanying <sup>15</sup> , Yotaro Ochi <sup>1</sup> , June Takeda <sup>1</sup> , Xingxing Qi <sup>1</sup> , Akinori Yoda <sup>1</sup> , Ayana Kon <sup>1</sup> , Tetsuichi Yoshizato <sup>6</sup> , Nobuyuki Kakiuchi <sup>1</sup> , Hideki Makishima <sup>1</sup> , Shuichi Matsuda <sup>4</sup> and Seishi Ogawa <sup>156</sup>
2. 発表標題 Non-cell autonomous effects of mutated cells in the pathogenesis of clonal hematopoiesis.
3. 学会等名 The 80th Annual Meeting of the Japanese_Society of_Hematology
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Ryunosuke Saiki, Seishi Ogawa, et al.
2. 発表標題 Combined landscape of single-nucleotide variants and copy-number alterations in clonal hematopoiesis
3. 学会等名 The 80th Annual Meeting of the Japanese_Society of_Hematology
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 垣内 伸之
2. 発表標題 慢性疾患の克服を目指した細胞のクローン進化の解析
3. 学会等名 第1回 関西共創の場 若手人材育成セミナー（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Akinori Yoda, Daisuke Morishita, Yotaro Ochi, Akio Mizutani, June Takeda, Hirokazu Tozaki, Yoshihiko Satoh, Yasuhito Nannya, Hideki Makishima, Hiroshi Miyake, Seishi Ogawa
2. 発表標題 CTX-712, a novel CLK inhibitor targeting myeloid neoplasms with SRSF2 mutation
3. 学会等名 The 83rd Annual Meeting of the Japanese_Cancer_Association
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 June Takeda , Seishi Ogawa,et al.
2. 発表標題 EPOR/JAK/STAT Pathway is a Promising Therapeutic Target in Acute Erythroid Leukemia
3. 学会等名 The 83th Annual Meeting of the Japanese_Society of_Hematology
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Ryunosuke Saiki, Seishi Ogawa,et al.
2. 発表標題 Combined landscape of single-nucleotide variants and copy-number alterations in clonal hematopoiesis: analysis in 11,234 Japanese individuals.
3. 学会等名 16th International Congress on Myelodysplastic Syndromes (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Akinori Yoda, Daisuke Morishita, Yotaro Ochi, Akio Mizutani, June Takeda, Hirokazu Tozaki, Yoshihiko Satoh, Yasuhiro Nannya, Hideki Makishima, Hiroshi Miyake, Seishi Ogawa
2. 発表標題 CTX-712, a novel CLK inhibitor targeting myeloid neoplasms with SRSF2 mutation
3. 学会等名 The 80th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 越智陽太郎
2. 発表標題 骨髄性腫瘍の遺伝子変異による転写異常の解明と新規治療法の開発
3. 学会等名 The 83rd Annual Meeting of the Japanese_Cancer_Association
4. 発表年 2021年

1 . 発表者名 Seishi Ogawa
2 . 発表標題 Disease Progression Biology
3 . 学会等名 MDS2021 (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2021年

1 . 発表者名 June Takeda , Seishi Ogawa,et al.
2 . 発表標題 EPOR/JAK/STAT Pathway is a Promising Therapeutic Target in Acute Erythroid Leukemia
3 . 学会等名 TThe 80th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association
4 . 発表年 2021年

1 . 発表者名 Tomonori Hirano, Nobuyuki Kakiuchi, Yasuhide Takeuchi, Toshihiko Masui, Yuichi Shiraishi, Satoru Miyano, Norimitsu Uza, Yuzo Kodama, Atsuhiko Masuda, Takeshi Tanaka, Hiroshi Seno, Tsutomu Chiba, Seishi Ogawa
2 . 発表標題 Genetic analysis of synchronous or metachronous multiple pancreatic cancers
3 . 学会等名 The 80th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association
4 . 発表年 2021年

1 . 発表者名 Masahiro M Nakagawa <sup>12</sup> , Ryosaku Inagaki <sup>123</sup> , Yutaka Kuroda <sup>4</sup> , Yasuhito Nannya <sup>1</sup> , Zhao Lanying <sup>15</sup> , Yotaro Ochi <sup>1</sup> , June Takeda <sup>1</sup> , Xingxing Qi <sup>1</sup> , Akinori Yoda <sup>1</sup> , Ayana Kon <sup>1</sup> , Tetsuichi Yoshizato <sup>6</sup> , Nobuyuki Kakiuchi <sup>1</sup> , Hideki Makishima <sup>1</sup> , Shuichi Matsuda <sup>4</sup> and Seishi Ogawa <sup>156</sup>
2 . 発表標題 Distinct pathogenesis of clonal hematopoiesis revealed by single-cell sequencing.
3 . 学会等名 The 80th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association (国際学会)
4 . 発表年 2021年

1 . 発表者名 Yoshikage Inoue, Nobuyuki Kakiuchi, Kenichi Yoshida, Yasuhito Nanya, Yusuke Shiozawa, Yasuhide Takeuchi, Yoichi Fujii, Yuichi Shiraishi, Kenichi Chiba, Tetsuichi Yoshizato, Satoshi Nagayama, Yoshiharu Sakai, Seishi Ogawa
2 . 発表標題 Genetic classification in colorectal cancer
3 . 学会等名 The 80th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association
4 . 発表年 2021年

1 . 発表者名 Hirona Maeda, Nobuyuki Kakiuchi, Takashi Ito, Eri Ogawa, Masahiro Shiokawa, Norimitsu Ōzu, Yoko Tanaka, Yasuhito Nannya, Hideki Makishima, Hiroaki Yasuda, Yuzo Kodama, Shinji Uemoto, Satoru Miyano, Seishi Ogawa
2 . 発表標題 Clonal expansion in bile duct associated with chronic inflammation
3 . 学会等名 The 80th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association
4 . 発表年 2021年

1 . 発表者名 Rurika Okuda, Seishi Ogawa, et al.
2 . 発表標題 ETNK1 mutations defines a subclass of der(1;7)(q10;p10) in myelodysplastic syndromes
3 . 学会等名 The 83th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology
4 . 発表年 2021年

1 . 発表者名 Rurika Okuda, Seishi Ogawa, et al.
2 . 発表標題 Der(1;7)(q10;p10) presents with a unique genetic profile and frequent ETNK1 mutations in myeloid neoplasms
3 . 学会等名 63rd American society of hematology annual meeting and exposition (国際学会)
4 . 発表年 2021年

1. 発表者名 Rurika Okuda, Seishi Ogawa, et al.
2. 発表標題 Der(1;7)(q10;p10) presents with a unique genetic profile and frequent ETNK1 mutations in myeloid neoplasms
3. 学会等名 63rd American society of hematology annual meeting and exposition
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Tomomi Nishimura, Nobuyuki Kakiuchi, Kenichi Yoshida, Yasuhide Takeuchi, Hirona Maeda, Yusuke Shiozawa, Masahiro Hirata, Tatsuki R. Kataoka, Takaki Sakurai, Satoko Baba, Kengo Takeuchi, Hironori Haga, Satoru Miyano8), Masakazu Toi, Seishi Ogawa
2. 発表標題 Clonal evolution of proliferative lesions into breast cancers
3. 学会等名 The 80th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Akinori Yoda, Daisuke Morishita, Yotaro Ochi, Akio Mizutani, June Takeda, Hirokazu Tozaki, Yoshihiko Satoh, Yasuhiro Nannya, Hideki Makishima, Hiroshi Miyake, Seishi Ogawa
2. 発表標題 CTX-712, a novel CLK inhibitor targeting myeloid neoplasms with SRSF2 mutation
3. 学会等名 The 80th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 垣内 伸之
2. 発表標題 がんの起源を探って
3. 学会等名 The 80th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名	Yotaro Ochi, Kenichi Yoshida, Yasuhito Nannya, Ko Sasaki, Kinuko Mitani, Noriko Hosoya, Takayuki Ishikawa, Kazuma Ohyashiki, Naoto Takahashi, Hideki Makishima, Yuichi Shiraishi, Masashi Sanada, Akifumi Takaori-Kondo, Satoru Miyano, and Seishi Ogawa
2. 発表標題	Clonal evolution and prognostic impact of mutations in blast crisis of chronic myeloid leukemia
3. 学会等名	The 80th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association ( 国際学会 )
4. 発表年	2021年

1. 発表者名	Ayana Kon, Masahiro M Nakagawa, Keisuke Kataoka, Ryosaku Inagaki, Hideki Makishima, Manabu Nakayama, Haruhiko Koseki, Yasuhito Nannya, Seishi Ogawa
2. 発表標題	The molecular pathogenesis of DDX41-mutated myeloid neoplasms
3. 学会等名	The 80th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association ( 国際学会 )
4. 発表年	2021年

1. 発表者名	Ryunosuke Saiki, Seishi Ogawa, et al.
2. 発表標題	Combined landscape of single-nucleotide variants and copy-number alterations in clonal hematopoiesis
3. 学会等名	The 83th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology ( 国際学会 )
4. 発表年	2021年

1. 発表者名	Seishi Ogawa
2. 発表標題	Clonal evolution and chronic inflammation
3. 学会等名	The 80th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association ( 招待講演 ) ( 国際学会 )
4. 発表年	2021年

1. 発表者名 垣内 伸之
2. 発表標題 大腸上皮細胞のクローン進化に及ぼす慢性炎症の影響
3. 学会等名 がんの分子医学セミナー（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Ryunosuke Saiki, Seishi Ogawa, et al.
2. 発表標題 Combined landscape of single-nucleotide variants and copy-number alterations in clonal hematopoiesis and their impact on hematological and cardiovascular outcomes
3. 学会等名 American Heart Association Scientific Sessions 2021（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 藤井陽一、樋口誠一郎、佐藤悠佑、白石友一、宮野悟、久米春喜、市川智彦、岩間厚志、田中知明、小川誠司
2. 発表標題 コルチゾール産生腺種におけるCTNNB1の新規構造異常と分子分類
3. 学会等名 第109回日本泌尿器科学会総会（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Akinori Yoda, Daisuke Morishita, Yotaro Ochi, Akio Mizutani, June Takeda, Hirokazu Tozaki, Yoshihiko Satoh, Yasuhiro Nannya, Hideki Makishima, Hiroshi Miyake, Seishi Ogawa
2. 発表標題 CTX-712, a novel CLK inhibitor targeting myeloid neoplasms with SRSF2 mutation
3. 学会等名 63rd ASH Annual Meeting and Exposition（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Ayana Kon, Masahiro M Nakagawa, Keisuke Kataoka, Ryosaku Inagaki, Hideki Makishima, Manabu Nakayama, Haruhiko Koseki, Yasuhito Nannya, Seishi Ogawa
2. 発表標題 Functional roles of DDX41 mutations in the development of myeloid malignancies
3. 学会等名 63rd ASH Annual Meeting and Exposition ( 国際学会 )
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Masahiro M Nakagawa <sup>1</sup> , Ryosaku Inagaki <sup>1,2</sup> , Yutaka Kuroda <sup>4</sup> , Yasuhito Nannya <sup>1</sup> , Lanying Zhao <sup>1,5</sup> , Yotaro Ochi <sup>1</sup> , June Takeda <sup>1</sup> , Xingxing Qi <sup>1</sup> , Akinori Yoda <sup>1</sup> , Ayana Kon <sup>1</sup> , Nobuyuki Kakiuchi <sup>1</sup> , Hideki Makishima <sup>1</sup> , Shuichi Matsuda <sup>3</sup> and Seishi Ogawa <sup>1,4,5</sup>
2. 発表標題 Distinct pathogenesis of clonal hematopoiesis revealed by single cell RNA sequencing integrated with highly sensitive genotyping method.
3. 学会等名 63rd ASH Annual Meeting and Exposition
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 June Takeda , Seishi Ogawa, et al.
2. 発表標題 EPOR/JAK/STAT Signaling Pathway as Therapeutic Target of Acute Erythroid Leukemia
3. 学会等名 63rd ASH Annual Meeting and Exposition ( 国際学会 )
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 垣内 伸之
2. 発表標題 Clonal expansion in noncancer tissues
3. 学会等名 京都大学大学院医学研究科腫瘍学講義 ( 招待講演 ) ( 国際学会 )
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 垣内 伸之
2. 発表標題 潰瘍性大腸炎における上皮細胞の自然選択について ~ 遺伝子変異クローン進化の観点から ~
3. 学会等名 Crohn's & Colitis, Let's Meet everyONE! (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 藤井陽一、樋口誠一郎、佐藤悠佑、白石友一、宮野悟、久米春喜、市川智彦、岩間厚志、田中知明、小川誠司
2. 発表標題 コルチゾール産生腺種におけるCTNNB1の新規構造異常と分子分類
3. 学会等名 第31回泌尿器科分子・細胞研究会 (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Yoichi Fujii, Haruki Kume, Seishi Ogawa
2. 発表標題 Molecular classification and diagnostics of upper urinary tract urothelial carcinoma
3. 学会等名 Global Virtual Congress on Cancer Research & Drug Development (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Seishi Ogawa
2. 発表標題 Life history of breast cancer inferred from phylogenies
3. 学会等名 The 3rd International cancer symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1 . 発表者名 Akinori Yoda, Daisuke Morishita, Akio Mizutani, Yotaro Ochi, Hirokazu Tozaki, Yoshihiko Satoh, June Takeda, Yasuhiro Nannya, Hideki Makishima, Hiroshi Miyake, Seishi Ogawa
2 . 発表標題 CTX-712, a novel CLK inhibitor targeting myeloid neoplasms with SRSF2 mutation
3 . 学会等名 The 82nd Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology
4 . 発表年 2020年

1 . 発表者名 Akinori Yoda, Daisuke Morishita, Akio Mizutani, Yotaro Ochi, Hirokazu Tozaki, Yoshihiko Satoh, June Takeda, Yasuhiro Nannya, Hideki Makishima, Hiroshi Miyake, Seishi Ogawa
2 . 発表標題 CTX-712, a novel CLK inhibitor targeting myeloid neoplasms with SRSF2 mutation
3 . 学会等名 The 79th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association
4 . 発表年 2020年

1 . 発表者名 Tomomi Nishimura, Ogawa Seishi et al.
2 . 発表標題 Clonal evolution of proliferative lesions into breast cancers.
3 . 学会等名 American Association for Cancer Research Annual Meeting 2020 (国際学会)
4 . 発表年 2020年

1 . 発表者名 Tomomi Nishimura, Nobuyuki Kakiuchi, Kenichi Yoshida, Yasuhide Takeuchi, Hirona Maeda, Yusuke Shiozawa, Masahiro Hirata, Tatsuki R. Kataoka, Takaki Sakurai, Satoko Baba, Kengo Takeuchi, Hironori Haga, Satoru Miyano, Masakazu Toi, Seishi Ogawa.
2 . 発表標題 Clonal evolution of proliferative lesions into breast cancers
3 . 学会等名 The 79th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association
4 . 発表年 2020年

1. 発表者名 西村 友美, 垣内 伸之, 吉田 健一, 竹内 康英, 前田 紘奈, 塩澤 裕介, 中川 正宏, 越智 陽太郎, 川田 有希子, 平田 勝啓, 片岡 竜貴, 桜井 孝規, 馬場 郷子, 白石 友一, 千葉 健一, 竹内 賢吾, 羽賀 博典, 宮野 悟, 戸井 雅和, 小川 誠司.
2. 発表標題 乳管上皮増殖性病変から乳癌へ至るクローン進化
3. 学会等名 The 28th Annual Meeting of the Japanese Breast Cancer Society
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Ryosaku Inagaki, Masahiro M Nakagawa, Yasuhito Nannya, Xingxing Qi, June Takeda, Akinori Yoda, Ayana Kon, Hideki Makishima, Seishi Ogawa
2. 発表標題 Analysis of mechanisms underlying clonal evolution of MDS and AML by single-cell DNA/RNA
3. 学会等名 The 79th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Ryosaku Inagaki, Masahiro M Nakagawa, Yasuhito Nannya, Xingxing Qi, Zhao Lanying, June Takeda, Akinori Yoda, Ayana Kon, Hisashi Tsurumi, Hideki Makishima, Seishi Ogawa
2. 発表標題 Analysis of mechanisms underlying clonal evolution of MDS and AML by single-cell DNA/RNA sequencing
3. 学会等名 The 82nd Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Ryosaku Inagaki, Masahiro M Nakagawa, Yasuhito Nannya, Xingxing Qi, Lanying Zhao, June Takeda, Akinori Yoda, Ayana Kon, Hisashi Tsurumi, Hideki Makishima, Seishi Ogawa
2. 発表標題 Analysis of Clonal Evolution of AML Using Simultaneous Single-cell DNA/RNA Analysis
3. 学会等名 the 62nd ASH Annual Meeting and Exposition (国際学会)
4. 発表年 2020年

1 . 発表者名 Yotaro Ochi, Kenichi Yoshida, Ko Sasaki, Noriko Hosoya, Yusuke Shiozawa, Yasuhito Nannya, Takayuki Ishikawa, Yuichi Shiraishi, Kenichi Chiba, Hiroko Tanaka, Masashi Sanada, Hideki Makishima, Akifumi Takaori-Kondo, Satoru Miyano, Kinuko Mitani, and Seishi Ogawa
2 . 発表標題 Genetic profiling and prognosis of blast crisis in chronic myeloid leukemia
3 . 学会等名 the 62nd ASH Annual Meeting and Exposition
4 . 発表年 2020年

1 . 発表者名 Yotaro Ochi, Ogawa Seishi et al.
2 . 発表標題 Prognostic Relevance of Genetic Abnormalities in Blastic Transformation of Chronic Myeloid Leukemia
3 . 学会等名 the 62nd ASH Annual Meeting and Exposition ( 国際学会 )
4 . 発表年 2020年

1 . 発表者名 Yotaro Ochi, Ogawa Seishi et al.
2 . 発表標題 COMBINED COHESIN-RUNX1 DEFICIENCY SYNERGISTICALLY PERTURBS CHROMATIN LOOPING
3 . 学会等名 25th Congress of EHA ( 国際学会 )
4 . 発表年 2020年

1 . 発表者名 Rurika Okuda, Ogawa Seishi et al.
2 . 発表標題 Distinct ethnic, clinical, and genetic characteristics of der(1;7) in myelodysplastic syndromes.
3 . 学会等名 25th Congress of EHA ( 国際学会 )
4 . 発表年 2020年

1 . 発表者名 Rurika Okuda, Yasuhito Nannya, Yotaro Ochi, Kazuhisa Chonabayashi, Maria Creignou, Hideki Makishima, June Takeda, Ayana Kon, Satoru Miyano, Hiroshi Handa, Shigeru Chiba, Kazuma Ohyashiki, Torsten Haferlach, Eva Hellstrom-Lindberg, Seishi Ogawa
2 . 発表標題 Distinct ethnic, clinical, and genetic characteristics of der(1;7) in myelodysplastic syndromes.
3 . 学会等名 The 79th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association ( 国際学会 )
4 . 発表年 2020年

1 . 発表者名 Rurika Okuda, Ogawa Seishi et al.
2 . 発表標題 Distinct ethnic, clinical, and genetic characteristics of der(1;7) in myelodysplastic syndromes.
3 . 学会等名 The 82nd Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology ( 国際学会 )
4 . 発表年 2020年

1 . 発表者名 Tatsuki Ogasawara, Yoichi Fujii, Yusuke Shiozawa, Hideki Makishima, Eijiro Nakamura, Tomoaki Tanaka, Yuichi Shiraishi, Satoru Miyano, Seishi Ogawa
2 . 発表標題 Multiple paragangliomas showed parallel evolution with unique HIF2 mutations in cyanotic congenital heart disease
3 . 学会等名 The 79th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association
4 . 発表年 2020年

1 . 発表者名 Yasuhito Nannya, Ogawa Seishi et al.
2 . 発表標題 The role of germline and somatic DDX41 mutations on myeloid malignancies.
3 . 学会等名 The 82nd Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology
4 . 発表年 2020年

1 . 発表者名 Yasuhito Nannya
2 . 発表標題 Precision medicine for AML in Japan and identification of novel therapeutic target.
3 . 学会等名 The 82nd Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology (招待講演)
4 . 発表年 2020年

1 . 発表者名 Yasuhito Nannya, Hideki Makishima, June Takeda, Yukihide Momozawa, Ryunosuke Saiki, Yasushi Miyazaki, Takayuki Ishikawa, Kazuma Ohyashiki, Eva Hellstr_m Lindberg, Mario Cazzola, Torsten Haferlach, YoichiroKamatani, Michiaki Kubo, Satoru Miyano, Seishi Ogawa
2 . 発表標題 The role of germline and somatic DDX41 mutations on myeloid malignancies.
3 . 学会等名 The 79th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association
4 . 発表年 2020年

1 . 発表者名 Yoshikage Inoue, Nobuyuki Kakiuchi, Kenichi Yoshida, Yusuke Shiozawa, Yuichi Shiraishi, Kenichi Chiba, Tetsuichi Yoshizato, Yasuhide Takeuchi, Hiroko Tanaka, Ai Okada, Satoshi Nagayama, Satoru Miyano, Yoshiharu Sakai, Seishi Ogawa
2 . 発表標題 Frequent mutational alterations to evade the immune system in colorectal cancer with POLE gene mutation
3 . 学会等名 The 79th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association
4 . 発表年 2020年

1 . 発表者名 Yoshikage Inoue, Nobuyuki Kakiuchi, Kenichi Yoshida, Yasuhide Takeuchi, Yusuke Shiozawa, Yuichi Shiraishi, Kenichi Chiba, Tetsuichi Yoshizato, Hiroko Tanaka, Ai Okada, Satoshi Nagayama, Satoru Miyano, Yoshiharu Sakai and Seishi Ogawa
2 . 発表標題 Frequent genomic alterations to evade the immune system in colorectal cancer with POLE gene mutation
3 . 学会等名 American Association for Cancer Research Annual Meeting 2020 (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2020年

1. 発表者名 Nobuyuki Kakiuchi, Kenichi Yoshida, Motoi Uchino, Takako Kihara, Akaki Kotaro, Yoshikage Inoue, Kenji Kawada, Satoshi Nagayama, Akira Yokoyama, Tomonori Hirano, Yasuhide Takeuchi, Hiroyuki Miyoshi, Yoshiharu Sakai, Hironori Haga, Seiichi Hirota, Hiroki Ikeuchi, Osamu Takeuchi, Satoru Miyano, Hiroshi Seno, Seishi Ogawa
2. 発表標題 Analysis of clonal expansion in epithelium affected by ulcerative colitis reveals frequent mutations affecting IL-17 signaling pathway and novel cancer vulnerability
3. 学会等名 American Association for Cancer Research Annual Meeting 2020 (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Nobuyuki Kakiuchi, Motoi Uchino, Takako Kihara, Kotaro Akaki, Yoshikage Inoue, Akira Yokoyama, Tomonori Hirano, Seiichi Hirota, Hiroki Ikeuchi, Osamu Takeuchi, Satoru Miyano, Hiroshi Seno, Seishi Ogawa
2. 発表標題 Analysis of clonal expansion in epithelium affected by ulcerative colitis reveals novel cancer vulnerability/潰瘍性大腸炎における大腸上皮クローン進化から明らかとなった大腸がんの脆弱性
3. 学会等名 The 79th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Nobuyuki Kakiuchi, Akira Yokoyama, Motoi Uchino, Takako Kihara, Kotaro Akaki, Yoshikage Inoue, Tomonori Hirano, Seiichi Hirota, Hiroki Ikeuchi, Osamu Takeuchi, Satoru Miyano, Hiroshi Seno, Seishi Ogawa
2. 発表標題 Tissue remodeling by positively selected clones in esophagus and colon/遺伝子変異クローンによる食道および大腸組織の再構築の解明
3. 学会等名 The 79th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 垣内 伸之
2. 発表標題 潰瘍性大腸炎における大腸上皮細胞のクローン進化について
3. 学会等名 第57回日本消化器免疫学会総会 (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 垣内 伸之、妹尾 浩、小川 誠司
2. 発表標題 潰瘍性大腸炎における大腸上皮細胞のクローン進化と発がん
3. 学会等名 Japan Digestive Disease Week 2020 (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Nobuyuki Kakiuchi and Seishi Ogawa
2. 発表標題 Analysis of clonal expansion in epithelium affected by ulcerative colitis reveals frequent mutations converging on NFKB1Z and novel cancer vulnerability/潰瘍性大腸炎における上皮細胞のクローン進化と大腸発がん
3. 学会等名 The 43rd Annual Meeting of the Molecular Biology Society of Japan (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 垣内 伸之
2. 発表標題 潰瘍性大腸炎における上皮細胞のクローン進化
3. 学会等名 第29回日本癌病態治療研究会 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 垣内 伸之
2. 発表標題 炎症性腸疾患の発癌メカニズム
3. 学会等名 日本消化器病学会近畿支部 第65回教育講演会 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Tomonori Hirano, Ogawa Seishi et al.
2. 発表標題 Genetic analysis of metachronous pancreatic cancers
3. 学会等名 American Association for Cancer Research Annual Meeting 2020 (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Tomonori Hirano, Nobuyuki Kakiuchi, Yasuhide Takeuchi, Toshihiko Masui, Yuichi Shiraishi, Satoru Miyano, Norimitsu Uza, Yuzo Kodama, Hiroshi Seno, and Seishi Ogawa
2. 発表標題 Genetic analysis of metachronous pancreatic cancers
3. 学会等名 The 79th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Kon A, Nakagawa MM, Inagaki R, Kataoka K, Ochi Y, Makishima H, Nakayama M, Koseki H, Nannya Y, Ogawa S
2. 発表標題 The functional role of compound DDX41 germline and somatic R525H mutations in the development of myeloid neoplasms
3. 学会等名 The 79th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Kon A, Nakagawa MM, Inagaki R, Kataoka K, Ochi Y, Makishima H, Nakayama M, Koseki H, Nannya Y, Ogawa S
2. 発表標題 The functional characterization of compound DDX41 germline and somatic R525H mutations in the development of myeloid malignancies
3. 学会等名 The 82nd Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology
4. 発表年 2020年

1 . 発表者名 Kon A, Nakagawa MM, Inagaki R, Kataoka K, Ochi Y, Makishima H, Nakayama M, Koseki H, Nannya Y, Ogawa S
2 . 発表標題 Functional characterization of compound DDX41 germline and somatic R525H mutations in the development of myeloid malignancies
3 . 学会等名 62nd ASH Annual Meeting and Exposition ( 国際学会 )
4 . 発表年 2020年

1 . 発表者名 Yoichi Fujii, Yusuke Sato, Hiromichi Suzuki, Yusuke Shiozawa, Tetsuichi Yoshizato, Kenichi Yoshida, Yuichi Shiraishi, Tohru Nakagawa, Hiroaki Nishimatsu, Toshikazu Okaneya, Masashi Sanada, Hideki Makishima, Satoru Miyano, Yukio Homma, Haruki Kume, Seishi Ogawa
2 . 発表標題 Distinct molecular subtypes and a high diagnostic urinary biomarker of Upper Urinary Tract Urothelial Carcinoma
3 . 学会等名 American Association for Cancer Research Annual Meeting 2020
4 . 発表年 2020年

1 . 発表者名 Yoichi Fujii, Yusuke Sato, Hiromichi Suzuki, Yusuke Shiozawa, Tetsuichi Yoshizato, Kenichi Yoshida, Yuichi Shiraishi, Tohru Nakagawa, Hiroaki Nishimatsu, Toshikazu Okaneya, Masashi Sanada, Hideki Makishima, Satoru Miyano, Seishi Ogawa, Haruki Kume
2 . 発表標題 Molecular subtypes and novel diagnostics of upper urinary tract urothelial carcinoma,
3 . 学会等名 European Urology Association Annual Meeting 2020
4 . 発表年 2020年

1 . 発表者名 Yoichi Fujii, Yusuke Sato, Hiromichi Suzuki, Yusuke Shiozawa, Tetsuichi Yoshizato, Kenichi Yoshida, Yuichi Shiraishi, Tohru Nakagawa, Hiroaki Nishimatsu, Toshikazu Okaneya, Masashi Sanada, Hideki Makishima, Satoru Miyano, Seishi Ogawa, Haruki Kume
2 . 発表標題 Distinct molecular subtypes and a high diagnostic urinary biomarker of upper urinary tract urothelial carcinoma
3 . 学会等名 American Urology Association Annual Meeting 2020
4 . 発表年 2020年

1. 発表者名 Yoichi Fujii, Yusuke Sato, Hiromichi Suzuki, Yusuke Shiozawa, Tetsuichi Yoshizato, Kenichi Yoshida, Yuichi Shiraishi, Tohru Nakagawa, Hiroaki Nishimatsu, Toshikazu Okaneya, Masashi Sanada, Hideki Makishima, Satoru Miyano, Seishi Ogawa, Haruki Kume
2. 発表標題 上部尿路上皮癌の変異に基づく分子病型分類とその臨床応用の可能性
3. 学会等名 第108回日本泌尿器科学会総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Ryunosuke Saiki, Tetsuichi Yoshizato, Yasuhito Nanya, Yukihide Momozawa, Chikashi Terao, Yuichi Shiraishi, Kenichi Chiba, Hiroko Tanaka, Atsushi Niida, Seiya Imoto, Koichi Matsuda, Takayuki Morisaki, Yoshinori Murakami, Yoichiro Kamatani, Michiaki Kubo, Satoru Miyano, Hideki Makishima, Seishi Ogawa
2. 発表標題 Combined Landscape of Gene Mutations and Copy Number Alterations in Clonal Hematopoiesis: Analysis in 10,612 Japanese Individuals
3. 学会等名 62nd ASH Annual Meeting and Exposition
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Ryunosuke Saiki, Tetsuichi Yoshizato, Yukihide Momozawa, Chikashi Terao, Yuichi Shiraishi, Kenichi Chiba, Hiroko Tanaka, Koichi Matsuda, Takayuki Morisaki, Yoshinori Murakami, Yoichiro Kamatani, Michiaki Kubo, Satoru Miyano, Hideki Makishima, Seishi Ogawa
2. 発表標題 INTEGRATED LANDSCAPE OF GENE MUTATIONS AND COPY NUMBER ALTERATIONS IN CLONAL HEMATOPOIESIS: ANALYSIS IN 10,852 JAPANESE INDIVIDUALS
3. 学会等名 25th Congress of EHA
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Ryunosuke Saiki, Tetsuichi Yoshizato, Yukihide Momozawa, Chikashi Terao, Yuichi Shiraishi, Kenichi Chiba, Hiroko Tanaka, Koichi Matsuda, Takayuki Morisaki, Yoshinori Murakami, Yoichiro Kamatani, Michiaki Kubo, Satoru Miyano, Hideki Makishima, Seishi Ogawa
2. 発表標題 Integrated Analysis of Gene Mutations and Copy Number Alterations in Clonal hematopoiesis
3. 学会等名 The 79th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association
4. 発表年 2020年

1 . 発表者名 Ryunosuke Saiki, Tetsuichi Yoshizato, Yukihide Momozawa, Chikashi Terao, Yuichi Shiraishi, Kenichi Chiba, Hiroko Tanaka, Koichi Matsuda, Takayuki Morisaki, Yoshinori Murakami, Yoichiro Kamatani, Michiaki Kubo, Satoru Miyano, Hideki Makishima, Seishi Ogawa
2 . 発表標題 Landscape of Gene Mutations and Copy Number Alterations in Clonal Hematopoiesis
3 . 学会等名 The 82nd Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology
4 . 発表年 2020年

1 . 発表者名 Masahiro M Nakagawa, Ryosaku Inagaki, Yutaka Kuroda, Yasuhito Nannya, Zhao Lanying, Yotaro Ochi, June Takeda, Xingxing Qi, Akinori Yoda, Ayana Kon, Nobuyuki Kakiuchi, Hideki Makishima, Shuichi Matsuda and Seishi Ogawa
2 . 発表標題 Distinct pathogenesis of clonal hematopoiesis revealed by single cell RNA sequencing integrated with highly sensitive genotyping method
3 . 学会等名 62nd ASH Annual Meeting ( 国際学会 )
4 . 発表年 2020年

1 . 発表者名 Masahiro M Nakagawa, Ryosaku Inagaki, Yasuhito Nannya, Zhao Lanying, Yotaro Ochi, June Takeda, Xingxing Qi, Akinori Yoda, Ayana Kon, Nobuyuki Kakiuchi, Hideki Makishima, Shuichi Matsuda and Seishi Ogawa
2 . 発表標題 Early Clonal evolution of myeloid malignancies.
3 . 学会等名 第79回日本癌学会学術総会
4 . 発表年 2020年

1 . 発表者名 Masahiro M Nakagawa, Ryosaku Inagaki, Yutaka Kuroda, Yasuhito Nannya, Zhao Lanying, Yotaro Ochi, June Takeda, Xingxing Qi, Akinori Yoda, Ayana Kon, Nobuyuki Kakiuchi, Hideki Makishima, Shuichi Matsuda and Seishi Ogawa
2 . 発表標題 Distinct pathogenesis of clonal hematopoiesis revealed by single-cell RNA/DNA sequencing
3 . 学会等名 第82回日本血液学会学術総会
4 . 発表年 2020年

1. 発表者名 Masahiro M Nakagawa, Ryosaku Inagaki, Yutaka Kuroda, Yasuhito Nannya, Zhao Lanying, Yotaro Ochi, June Takeda, Xingxing Qi, Akinori Yoda, Ayana Kon, Nobuyuki Kakiuchi, Hideki Makishima, Shuichi Matsuda and Seishi Ogawa
2. 発表標題 Distinct pathogenesis of clonal hematopoiesis revealed by high throughput single cell RNA sequencing integrated with highly sensitive genotyping method
3. 学会等名 25th Congress of the European Hematology Association (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 June Takeda, Ogawa Seishi et al.
2. 発表標題 JAK STAT Pathway is a Promising Therapeutic target in Acute Erythroid Leukemia
3. 学会等名 The 79th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 June Takeda, Ogawa Seishi et al.
2. 発表標題 急性赤白血病に対するJAK STAT パスウェイ阻害薬の有用性の検討
3. 学会等名 The 82nd Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 June Takeda, Ogawa Seishi et al.
2. 発表標題 _NOVEL MOLECULAR PATHOGENESIS AND THERAPEUTIC TARGETS IN ACUTE ERYTHROID LEUKEMIA
3. 学会等名 25th Congress of the European Hematology Association (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 June Takeda, Ogawa Seishi et al.
2. 発表標題 Genotype-Phenotype Relationships and Therapeutic Targets in Acute Erythroid Leukemia
3. 学会等名 63nd ASH Annual Meeting and Exposition (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Hirona Maeda, Nobuyuki Kakiuchi, Ito Takashi, Eri Ogawa, Masahiro Shiokawa, Norimitsu Uza, Yoko Tanaka, Yasuhito Nannya, Hideki Makishima, Shinji Uemoto, Satoru Miyano, Seishi Ogawa
2. 発表標題 Clonal expansion in bile duct associated with chronic inflammation
3. 学会等名 The 79th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Seishi Ogawa
2. 発表標題 加齢に伴うゲノム異常と発がん
3. 学会等名 The 79th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Seishi Ogawa
2. 発表標題 Mutations in normal tissues
3. 学会等名 The 79th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Seishi Ogawa
2. 発表標題 がんの起源について
3. 学会等名 関西医科大学大学院セミナー（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Seishi Ogawa
2. 発表標題 がんの起源について
3. 学会等名 第31回日本消化器癌発生学会総会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Seishi Ogawa
2. 発表標題 がんの起源について
3. 学会等名 第84回日本皮膚科学会東京支部学術大会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Seishi Ogawa
2. 発表標題 造血器腫瘍を対象とする遺伝子パネル検査
3. 学会等名 第41回メディコピア教育講演シンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2021年

1 . 発表者名 Seishi Ogawa
2 . 発表標題 Cancer mutations in normal tissues
3 . 学会等名 CVMW2020 (招待講演)
4 . 発表年 2021年

1 . 発表者名 Xingxing Qi, Masahiro M Nakagawa, Ryosaku Inagaki, Sosuke Sumiyoshi, Tomoe Nakagawa, Yasuhito Nannya, Zhao Lanying, Hisashi Tsurumi, Hideki Makishima, and Seishi Ogawa
2 . 発表標題 Clonal heterogeneity and evolution of MPN revealed by single-cell RNA/DNA sequencing
3 . 学会等名 25th Congress of EHA
4 . 発表年 2020年

1 . 発表者名 Xingxing Qi, Masahiro M Nakagawa, Ryosaku Inagaki, Sosuke Sumiyoshi, Tomoe Nakagawa, Yasuhito Nannya, Zhao Lanying, Hisashi Tsurumi, Hideki Makishima, and Seishi Ogawa
2 . 発表標題 Clonal heterogeneity and evolution of MPN revealed by single-cell RNA/DNA sequencing
3 . 学会等名 The 79th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association
4 . 発表年 2020年

1 . 発表者名 Xingxing Qi, Masahiro M Nakagawa, Ryosaku Inagaki, Sosuke Sumiyoshi, Tomoe Nakagawa, Yasuhito Nannya, Zhao Lanying, Hisashi Tsurumi, Hideki Makishima, and Seishi Ogawa
2 . 発表標題 Clonal heterogeneity and evolution of MPN revealed by single-cell RNA/DNA sequencing
3 . 学会等名 The 82nd Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology
4 . 発表年 2020年

1. 発表者名 Yoshikage Inoue, Nobuyuki Kakiuchi, Kenichi Yoshida, Yusuke Shiozawa, Yuichi Shiraishi, Kenichi Chiba, Tetsuichi Yoshizato, Hiroko Tanaka, Ai Okada, Satoshi Nagayama, Satoru Miyano, Yoshiharu Sakai and Seishi Ogawa
2. 発表標題 Mutational landscape of colorectal cancer with POLE gene mutation・ポスター
3. 学会等名 American Association_for Cancer Research_Annual Meeting 2019.Atlanta, USA (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yasuhide Takeuchi, Annegret Kunitz, Hiromichi Suzuki, Kenichi Yoshida, Yuichi Shiraishi, Teppei Shimamura, Kenichi Chiba, Hiroko Tanaka, Nobuyuki Kakiuchi, Yusuke Shiozawa, Akira Yokoyama, Tetsuichi Yoshizato, Kosuke Aoki, Yoichi Fujii, Hideki Makishima, Hironori Haga, Satoru Miyano, Frederik Damm, Seishi Ogawa
2. 発表標題 Myxofibrosarcoma is characterized by frequent abnormalities in TP53 and increased genetic instability
3. 学会等名 American Association for Cancer Research Annual Meeting 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Tomomi Nishimura, Kenichi Yoshida, Yukiko Kawata, Yasuhide Takeuchi, Nobuyuki Kakiuchi, Yusuke Shiozawa, Kosuke Aoki, Masahiro Hirata, Tatsuki R. Kataoka, Takaki Sakurai, Satoko Baba, Yuichi Shiraishi, Kenichi Chiba, Kengo Takeuchi, Hironori Haga, Satoru Miyano, Masakazu Toi, Seishi Ogawa
2. 発表標題 Clonal evolution of non-malignant proliferative lesions into breast cancers (ポスター)
3. 学会等名 AACR Annual meeting 2019 (Atlanta, USA) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Tatsuki Ogasawara, Yoichi Fujii, Masanori Fujimoto, Yusuke Shiozawa, Hiromichi Suzuki, Tetsuichi Yoshizato, Kenichi Yoshida, Yuichi Shiraishi, Kenichi Chiba, Hiroko Tanaka, Hideki Makishima, Satoru Miyano, Tomoaki Tanaka, Seishi Ogawa
2. 発表標題 Genetic analysis of pheochromocytoma
3. 学会等名 American Association for Cancer Research Annual Meeting 2019, Atlanta, USA (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Nobuyuki Kakiuchi, Ogawa Seishi., et al.
2. 発表標題 Genetic analysis of pancreatic neoplasms grade 3
3. 学会等名 AACR Annual Meeting 2019
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小川誠司
2. 発表標題 特別講演「がんの起源について」
3. 学会等名 第56回日本臨床分子医学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小川誠司
2. 発表標題 がんの起源について
3. 学会等名 第30回日本医学会総会 2019 中部（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Rurika Okuda, Ogawa Seishi., et al.
2. 発表標題 Distinct ethnic, clinical, and genetic characteristics of der(1;7) in myelodysplastic syndromes.(Poster)
3. 学会等名 15th MDS Symposium (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yasuhito Nannya, Ogawa Seishi., et al.
2. 発表標題 Molecular characteristics that predict response to azacitidine therapy (Poster)
3. 学会等名 Th 15th International Symposium on Myelodysplastic Syndromes, Copenhagen, Denmark (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 竹内 康英, Chantana Polprasert, 垣内 伸之, 吉田 健一, 真田 昌, 秋田 直洋, 竹田 淳恵, 藤井 陽一, 鈴木 啓道, 南谷 泰仁, 白石 友一, 千葉 健一, 田中 洋子, 宮野 悟, Ponlapat Rojnuckarin, 小川 誠司, 牧島 秀樹
2. 発表標題 孤発例の皮下脂肪織炎様T細胞リンパ腫でも高頻度でTIM3の胚細胞変異を認める
3. 学会等名 第108回病理学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Seishi Ogawa
2. 発表標題 Germline DDX41 mutations in the Japanese populations (口頭)
3. 学会等名 The 10th JSH International (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Seishi Ogawa
2. 発表標題 Clonal hematopoiesis in Aplastic anemia
3. 学会等名 24th Congress of European Hematology Association (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ayana Kon Yasuhito Nannya, Keisuke Kataoka, Manabu Nakayama, Haruhiko Koseki, Masashi Sanada, Hideki Makishima, Marshall Masahiro Nakagawa, Seishi Ogawa
2. 発表標題 Biological characterization of the U2af1 S34F mutation in the pathogenesis of myelodysplasia
3. 学会等名 24th Congress of European Hematology Association (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 June Takeda, Ogawa Seishi., et al.
2. 発表標題 NOVEL MOLECULAR PATHOGENESIS AND THERAPEUTIC TARGET IN ACUTE ERYTHROID LEUKEMIA(Poster)
3. 学会等名 24th EHA Congress, Amsterdam, (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Tomomi Nishimura, Kenichi Yoshida, Yukiko Kawata, Yasuhide Takeuchi, Nobuyuki Kakiuchi, Yusuke Shiozawa, Kosuke Aoki, Masahiro Hirata, Tatsuki R. Kataoka, Takaki Sakurai, Satoko Baba, Yuichi Shiraishi, Kenichi Chiba, Kengo Takeuchi, Hironori Haga, Satoru Miyano, Masakazu Toi, Seishi Ogawa
2. 発表標題 Clonal evolution of non-malignant proliferative lesions into breast cancers (口頭)
3. 学会等名 第27回日本乳癌学会学術総会 (東京) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Seishi Ogawa
2. 発表標題 Clonal expansion in non-cancer tissues (口頭)
3. 学会等名 The XVIIIth KICancer-StratCan Retreat (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Seishi Ogawa
2. 発表標題 Molecular profiles in Myelodysplastic Syndromes (口頭)
3. 学会等名 QOL-ONE IV Annual Conference (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yoshikage Inoue, Nobuyuki Kakiuchi, Kenichi Yoshida, Yusuke Shiozawa, Yuichi Shiraishi, Kenichi Chiba, Tetsuichi Yoshizato, Hiroko Tanaka, Ai Okada, Satoshi Nagayama, Satoru Miyano, Yoshiharu Sakai and Seishi Ogawa
2. 発表標題 Clinical and Genetic Characteristics of Colorectal Cancer with POLE Gene Mutation・口頭
3. 学会等名 The 78thAnnual_Meeting of the Japan_Cancer Association,_Kyoto
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 竹内 康英, 鈴木 啓道, 吉田 健一, 白石 友一, 垣内 伸之, 塩澤 裕介, 井上 善景, 千葉 健一, 牧島 秀樹, 宮野 悟, 羽賀 博典, Damm Frederik, 小川 誠司
2. 発表標題 粘液線維肉腫にみられるTP53の異常と著明な遺伝的不安定性
3. 学会等名 第78回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 June Takeda , Ogawa Seishi., et al.
2. 発表標題 急性赤白血病のゲノム解析と治療標的 (oral)
3. 学会等名 第78月回日本癌学会学術総会, 京都, 日本
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Tomomi Nishimura, Kenichi Yoshida, Yasuhide Takeuchi, Nobuyuki Kakiuchi, Yusuke Shiozawa, Tatsuki R. Kataoka, Takaki Sakurai, Kengo Takeuchi, Hironori Haga, Satoru Miyano, Masakazu Toi, Seishi Ogawa
2. 発表標題 Clonal evolution of proliferative lesions into breast cancers (口頭)
3. 学会等名 第78回日本癌学会学術総会 (京都)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ryosaku Inagaki, Masahiro M Nakagawa, Yasuhito Nannya, Xingxing Qi, June Takeda, Akinori Yoda, Ayana Kon, Hideki Makishima, Seishi Ogawa
2. 発表標題 Analysis of mechanisms underlying clonal evolution in MDS to sAML transformation by single-cell sequencing
3. 学会等名 The 78th JCA conference
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐伯 龍之介、塩澤 裕介、吉里 哲一、南谷 泰仁、竹田 淳恵、吉田 健一、白石 友一、千葉 滋、石川 隆之、宮野 悟、牧島 秀樹、小川 誠司
2. 発表標題 骨髓系腫瘍におけるコピー数異常と遺伝子変異の統合解析
3. 学会等名 第78回日本癌学会学術総会, 京都, 日本
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Rurika Okuda, Ogawa Seishi., et al.
2. 発表標題 Distinct ethnic, clinical, and genetic characteristics of der(1;7) in myelodysplastic syndromes.(Poster)
3. 学会等名 78th Japanese Cancer Association
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Rurika Okuda, Ogawa Seishi., et al.
2. 発表標題 Distinct ethnic, clinical, and genetic characteristics of der(1;7) in myelodysplastic syndromes.(PlenarySession)
3. 学会等名 81st Japanese Society of Haematology
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yasuhito Nannya, June Takeda, Hiroko Tanaka, Kenichi Chiba, Yuichi Shiraishi, Masahiro Nakagawa, Hideki Makishima, Kenichi Yoshida, Shigeru Chiba, Yasushi Miyazaki, Kazuma Ohyashiki, Satoru Miyano, and Seishi Ogawa
2. 発表標題 Novel combinations of genetic events and subtypes in myeloid tumors revealed by Integrated analysis
3. 学会等名 The 81st Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology, Kyoto
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ryunosuke Saiki, Ogawa Seishi., et al.
2. 発表標題 骨髓系腫瘍におけるコピー数異常と遺伝子変異の統合解析
3. 学会等名 第81回日本血液学会学術集会、東京、日本
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 竹内 康英, Chantana Polprasert, 垣内 伸之, 吉田 健一, 真田 昌, 秋田 直洋, 竹田 淳恵, 藤井 陽一, 鈴木 啓道, 南谷 泰仁, 白石 友一, 千葉 健一, 田中 洋子, 宮野 悟, Ponlapat Rojnuckarin, 小川 誠司, 牧島 秀樹
2. 発表標題 孤発例の皮下脂肪織炎様T細胞リンパ腫でも高頻度でTIM3の胚細胞変異を認める
3. 学会等名 第81回日本血液学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 June Takeda , Ogawa Seishi., et al.
2. 発表標題 NOVEL MOLECULAR PATHOGENESIS AND THERAPEUTIC TARGET IN ACUTE ERYTHROID LEUKEMIA (Oral)
3. 学会等名 The 81th Annual Meeting of the Japanese_Cancer_Association, Tokyo, Japan
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hiroo Ueno, Ogawa Seishi., et al.
2. 発表標題 Clinical significance of TP53 mutations in pediatric B cell acute lymphoblastic leukemia
3. 学会等名 第81回日本血液学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ryosaku Inagaki, Masahiro M Nakagawa, Yasuhito Nannya, Xingxing Qi, Zhao Lanying, June Takeda, Akinori Yoda, Ayana Kon, Hisashi Tsurumi, Hideki Makishima, Seishi Ogawa
2. 発表標題 Analysis of mechanisms underlying clonal evolution of AML by a new single-cell sequencing platform
3. 学会等名 The 81st JCA conference 2019, Tokyo, Japan
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Seishi Ogawa
2. 発表標題 On the Origin of Cancer
3. 学会等名 The 7th McGill-Kyoto Training course & Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Seishi Ogawa
2. 発表標題 Clonal Origin of Cancer
3. 学会等名 XXIX IACRLRD SYMPOSIUM IACRLRD2019 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 垣内 伸之, 内野 基, 木原 多佳子, 赤木 宏太郎, 井上 善景, 長山 聡, 横山 顕礼, 平野 智紀, 竹内 康英, 越智 陽太郎, 塩澤 裕介, 片岡 圭亮, 中川 正宏, 依田 成玄, 南谷 泰仁, 牧島 秀樹, 白石 友一, 千葉 健一, 真田 昌, 三好 弘之, 坂井 義治, 桜井 孝規, 羽賀 博典, 廣田 誠一, 池内 浩基, 竹内 理, 宮野 悟, 妹尾 浩, 小川 誠司
2. 発表標題 潰瘍性大腸炎における上皮細胞の陽性選択
3. 学会等名 第42回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小川 誠司
2. 発表標題 A Unique Mechanism of Cancer Immune Evasion via the Disruption of PD-L1 3' -UTR (口頭)
3. 学会等名 第50回記念高松宮妃癌研究基金国際シンポジウム (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Akinori Yoda, Daisuke Morishita, Akio Mizutani, Hirokazu Tozaki, Yotaro Ochi, Yoshihiko Satoh, Yasuhiro Nannya, Hideki Makishima, Hiroshi Miyake and Seishi Ogawa
2. 発表標題 CTX-712, a novel CLK inhibitor targeting myeloid neoplasms with splicing factor mutations (Oral)
3. 学会等名 The 61st Annual Meeting and Exposition of American Society of Hematology, Orlando, USA (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yasuhito Nannya, Ogawa Seishi., et al.
2. 発表標題 Molecular characteristics that predict response to azacitidine therapy (Poster)
3. 学会等名 61st ASH Annual Meeting & Exposition, Orland, FL ( 国際学会 )
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 June Takeda , Ogawa Seishi., et al.
2. 発表標題 Novel molecular pathogenesis and
3. 学会等名 61st ASH Annual Meeting & Exposition, Orland, FL ( 国際学会 )
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 June Takeda ,Ogawa Seishi., et al.
2. 発表標題 therapeutic targets in acute erythroid leukemia (Oral)
3. 学会等名 61st ASH Annual Meeting & Exposition, Orland, FL ( 国際学会 )
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ryunosuke Saiki, Ogawa Seishi., et al.
2. 発表標題 Integrated Analysis of Copy-Number Alterations and Gene Mutations in 2,000 Patients with Myeloid Neoplasms
3. 学会等名 The 61st Annual Meeting and Exposition of American Society of Hematology, Orlando, USA ( 国際学会 )
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ryosaku Inagaki, Masahiro M Nakagawa, Yasuhito Nannya, Xingxing Qi, Lanying Zhao, June Takeda, Akinori Yoda, Ayana Kon, Hisashi Tsurumi, Hideki Makishima, Seishi Ogawa
2. 発表標題 Analysis of mechanisms underlying clonal evolution of AML by a new single-cell sequencing platform
3. 学会等名 62nd American Society of Hematology Annual Meeting (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Tomomi Nishimura, Kenichi Yoshida, Nobuyuki Kakiuchi, Yasuhide Takeuchi, Yukiko Kawata, Hirona Maeda, Yusuke Shiozawa, Kosuke Aoki, Masahiro Hirata, Tatsuki R. Kataoka, Takaki Sakurai, Satoko Baba, Yuichi Shiraishi, Kenichi Chiba, Kengo Takeuchi, Hironori Haga, Satoru Miyano, Masakazu Toi, and Seishi Ogawa
2. 発表標題 Clonal evolution of proliferative lesions into breast cancers
3. 学会等名 San Antonio Breast Cancer Symposium 2019 (San Antonio, USA) (国際学会)
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

<a href="https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/research-news/2022-08-05-1">https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/research-news/2022-08-05-1</a> <a href="https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/research-news/2021-07-09-1">https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/research-news/2021-07-09-1</a> <a href="https://www.med.kyoto-u.ac.jp/research/field/doctoral_course/r-006">https://www.med.kyoto-u.ac.jp/research/field/doctoral_course/r-006</a> <a href="http://plaza.umin.ac.jp/kyoto_tumorpatho/">http://plaza.umin.ac.jp/kyoto_tumorpatho/</a> <a href="https://researchmap.jp/7000009356/">https://researchmap.jp/7000009356/</a> <a href="https://www.med.kyoto-u.ac.jp/organization-staff/research/doctoral_course/r-006/">https://www.med.kyoto-u.ac.jp/organization-staff/research/doctoral_course/r-006/</a> <a href="http://plaza.umin.ac.jp/kyoto_tumorpatho/">http://plaza.umin.ac.jp/kyoto_tumorpatho/</a> <a href="https://researchmap.jp/7000009356/">https://researchmap.jp/7000009356/</a> <a href="https://www.med.kyoto-u.ac.jp/organization-staff/research/doctoral_course/r-006/">https://www.med.kyoto-u.ac.jp/organization-staff/research/doctoral_course/r-006/</a> <a href="http://plaza.umin.ac.jp/kyoto_tumorpatho/">http://plaza.umin.ac.jp/kyoto_tumorpatho/</a> <a href="https://researchmap.jp/7000009356/">https://researchmap.jp/7000009356/</a> <a href="https://www.med.kyoto-u.ac.jp/organization-staff/research/doctoral_course/r-006/">https://www.med.kyoto-u.ac.jp/organization-staff/research/doctoral_course/r-006/</a> <a href="http://plaza.umin.ac.jp/kyoto_tumorpatho/">http://plaza.umin.ac.jp/kyoto_tumorpatho/</a> <a href="https://researchmap.jp/7000009356/">https://researchmap.jp/7000009356/</a>
--

6. 研究組織			
	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	中川 正宏  (Nakagawa Masahiro)  (10431850)	京都大学・医学研究科・特定准教授    (14301)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	片岡 竜貴 (Kataoka Tatsuki)  (20343254)	岩手医科大学・医学部・教授  (31201)	
研究分担者	昆 彩奈 (Kon Ayana)  (20772403)	京都大学・医学研究科・助教  (14301)	
研究分担者	牧島 秀樹 (Makishima Hideki)  (40402127)	京都大学・医学研究科・准教授  (14301)	2024年1月1日より、信州大学へ異動
研究分担者	南谷 泰仁 (Nannya Yasuhito)  (60451811)	東京大学・医科学研究所・教授  (12601)	
研究分担者	依田 成玄 (Yoda Akinori)  (70335454)	京都大学・医学研究科・特定准教授  (14301)	
研究分担者	江藤 正俊 (Eto Masatoshi)  (90315078)	九州大学・医学研究院・教授  (17102)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------